9インチ液晶 ワンセグ＆防水 DVD プレーヤー

Dioconnect DPD-WP920i

取扱説明書

■ご使用の前に

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
正しくご使用して頂くために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、機能を十分にいかして正しくご愛用下さい。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立て下さい。

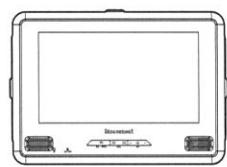
※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
※本書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
※当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。
※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。

目次

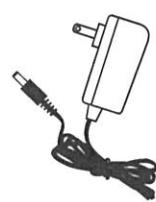
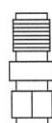
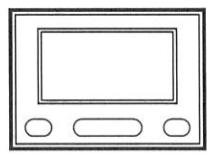
はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
○取扱説明書について ・・・・・・・・・・ 2
○セット内容 ・・・・・・・・・・・・・・ 2
安全上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・ 3
使用上のお願い ・・・・・・・・・・・・・ 10
ディスクの取り扱い ・・・・・・・・・・・ 11
本体の各部名称 ・・・・・・・・・・・・・ 14
リモコンの各部名称 ・・・・・・・・・・・ 17
リモコンを使う ・・・・・・・・・・・・・ 19
電源について ・・・・・・・・・・・・・・ 20
○AC電源アダプターの接続 ・・・・・・ 20
○充電池の充電 ・・・・・・・・・・・・・ 20
○シガーソケット電源アダプターの接続 ・ 21
外部出力の接続をする ・・・・・・・・・ 22
外部入力の接続をする ・・・・・・・・・ 23
ヘッドフォン/イヤフォンを接続をする ・・ 24
電源のオン/オフ ・・・・・・・・・・・・ 25
音量を調節する ・・・・・・・・・・・・・ 25
モードを切り替える ・・・・・・・・・・・ 25
メディアをセットする ・・・・・・・・・・ 26
○ディスクをセットする ・・・・・・・・・ 26
○USBメモリをセットする ・・・・・・・ 26
○SDメモリーカードをセットする ・・・・ 27
DVDを視聴する ・・・・・・・・・・・・・ 28
○メインモードにする ・・・・・・・・・・ 28
○DVDをセットする ・・・・・・・・・・ 28
○DVD再生の操作と機能 ・・・・・・・・ 28
音楽CDを聴く ・・・・・・・・・・・・・・ 33
○メインモードにする ・・・・・・・・・・ 33
○音楽CDをセットする ・・・・・・・・・ 33
○音楽CD再生の操作と機能 ・・・・・・・ 33
○音楽CDからUSBメモリに録音する ・・ 36
いろいろなファイルを再生する ・・・・・ 38
○メインモードにする ・・・・・・・・・・ 38
○メディアをセットする ・・・・・・・・・ 38
○動画/音楽/静止画ファイル再生の操作と機能 ・・・・・・・・・・・・・・ 38
設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
○設定の基本操作 ・・・・・・・・・・・ 42
○一般設定 ・・・・・・・・・・・・・・・ 43
○音声設定 ・・・・・・・・・・・・・・・ 44
○デジタル ・・・・・・・・・・・・・・・ 44
○ビデオ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
○選択 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
ワンセグを視聴する ・・・・・・・・・・・ 47
○アンテナを接続する ・・・・・・・・・・ 47
○TVモードにする ・・・・・・・・・・・ 48
○チャンネルを受信する ・・・・・・・・・ 48
○チャンネルを選局する ・・・・・・・・・ 49
○ワンセグの操作と機能 ・・・・・・・・・ 50
○ワンセグを録画する ・・・・・・・・・・ 51
○ワンセグを予約録画する ・・・・・・・・ 52
○録画した番組を再生する ・・・・・・・・ 53
○録画した番組を削除する ・・・・・・・・ 53
○設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
○システム情報 ・・・・・・・・・・・・・ 54
車載用ケースの取り付け方 ・・・・・・・ 55
トラブルシューティング ・・・・・・・・・ 56
主な仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
アフターサービスと保証書 ・・・・・・・ 60

お使いになる前に必ずお読みください。

はじめに

取扱説明書について

本取扱説明書は、本製品の操作方法について説明しています。

セット内容

本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。
※イラストと実際の形状は、若干異なる場合があります。

●本製品を使ってのワンセグの録画・再生には、microSDメモリーカード（別売）が必要です。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意

○ご使用の前に、あなたの健康と安全を守り、火災や感電などによる事故を未然に防ぐために、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合におこりうる事故の程度を表します。

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害（※3）の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。
※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。
※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。

禁止（してはいけないこと）を表します。
具体的な内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。

指示する行為の強制（必ずしなければならないこと）を表します。
具体的な内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。

注意（警告含む）を表します。
具体的な内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。

警告 異常や故障したとき

AC電源アダプターを抜く

○煙が出たり、変なにおいがする場合は、すぐにAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
○内部に水や異物が入ってしまった場合は、すぐにAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
○本体を落としたり、破損した場合は、すぐにAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
○電源コードが傷んだり、AC電源アダプターが異常に熱くなった場合は、AC電源アダプターが冷えたことを確認し、AC電源アダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

上記の問題が発生した場合は、AC電源アダプターを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意

⚠警告 設置をされるとき

禁止

○本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。
○浴室などの水まわりでのご使用の場合は、AC電源アダプターや他の機器との接続をしないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。

指示

○AC電源アダプターは、家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災や感電などの原因となります。
○静電気の発生しやすい場所に設置して使用する場合は十分注意してください。本製品の故障や感電、火災の発生するおそれがあります。静電気防止マットなどを使用して静電気の発生を防ぐ措置をとるか、静電気の発生しやすい場所への設置を避けてください。

禁止

○ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。　本体が落下してケガの原因となります。

上乗せ禁止

○上に物を置かないでください。
金属類や、花瓶、コップ、化粧品などの液体が入った場合、火災や感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、ケガの原因となります。

ご使用になるとき

分解禁止

○修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となります。
点検や調整、修理はサポートセンターにご依頼ください。

異物挿入禁止

○本製品内部に異物を入れないでください。
金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

接触禁止

○雷が鳴りだしたら、本製品には一切触れないでください。感電の原因となります。

禁止

○電源コードについて
・傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、加熱をしないでください。
・引っ張ったり、重たいものを載せたり、挟んだりしないでください。
・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないでください。
これらは火災や感電の原因となります。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意

⚠警告 お手入れについて

禁止

○AC電源アダプターの端子や取り付け面にゴミやホコリが付着している場合は、AC電源アダプターを抜いて、ゴミやホコリを取ってください。
AC電源アダプターの絶縁低下によって、感電の原因となります。

⚠注意 設置をされるとき

禁止

○温度の高い場所に置かないでください。
直射日光の当たる場所やストーブのそばなどに置くと、火災や感電の原因となります。また、部品の劣化や破損の原因となります。

○高温多湿の環境や、油煙、ホコリの多い場所に置かないでください。
本製品の故障や、感電や火災の発生するおそれがあります。

○換気の悪い場所に設置しないでください。熱がこもり、本製品の変形や故障、火災の発生するおそれがあります。

・壁に押し付けないください。
・押し入れや箱の中など、風通しの悪い場所に押し込まないでください。
・テーブルクロスやカーテンなどを掛けたりしないでください。
・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。
・仰向け、横倒し、逆さまにしないでください。

指示

○移動させる場合は、AC電源アダプターや外部との接続コードを外してください。AC電源アダプターを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき、火災や感電などの原因となることや、接続コードなどを外さずに運ぶと、本製品が転倒してケガの原因となることがあります。

⚠注意 ご使用になるとき

引っ張り禁止

○AC電源アダプターを抜く時は、電源コードを引っ張って抜かないでください。電源コードを引っ張って抜くと、電源コードやAC電源アダプターが傷つき、火災や感電などの原因となります。
AC電源アダプターを持って抜いてください。

濡れ手禁止

○濡れた手でAC電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意

○旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合、火災の原因となることがあります。

○ディスクトレイに手を入れないでください。指を挟み、ケガの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
○ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。本製品の故障の原因となります。
○電源を入れる前には音量を最小にしてください。また、接続している外部機器の音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。
○本製品から異音が出た際は使用を中止してください。聴力に悪い影響を与える恐れや、本製品の故障の原因となる恐れがあります。
○音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて音声を聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
○ヘッドフォン、イヤフォンを使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
○リモコンに使用する電池について
・極性〔(+)と(−)〕の方向を間違えて挿入しないでください。
・充電・加熱・分解・ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。
・電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎていたり、使い切って残量のない電池は、リモコンに入れたままにしておかないでください。液漏れの原因となります。
もし液体が皮膚や衣類についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。器具に付着した場合は、液体に直接触れないで拭き取ってください。
○ご使用になるとき本製品やコードなどを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災や感電などの原因になることがあります。
○本製品の上に重い物を載せたり、本来の目的以外に使用しないでください。ケガや故障の原因になります。
○本製品に衝撃を与えないでください。ケガの原因になることがあります。
○本製品を持ち上げる際は、両手で水平に持ち上げてください。無理な体勢で取り扱うと、落下して本製品が故障するおそれがあるほか、ケガなどの原因となるおそれがあります。

○他の電気機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどの機器がある場合、雑音が入ることがあります。
○その場合は下記のように対処してください。
・他の電気機器からできるだけ離してください。
・テレビやラジオ機器などのアンテナの向きを変えてください。
・コンセントを別々にしてください。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意

AC電源アダプターについて

警告

指示

○AC電源アダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
○AC電源アダプターをコンセントから抜く前に、必ず本体の主電源をオフにしてください。
○本体を長期間使用しない場合は、AC電源アダプターをコンセントから抜いてください。
○本製品に付属のAC電源アダプターは、本製品専用です。他の製品に使用しないでください。

注意

禁止

○濡れた手でAC電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
○DC電源プラグを本体の電源入力端子に差し込んだときに、完全に根元に差し込まれたことを確認してください。
○AC電源アダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。
○AC電源アダプターを、布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障の原因となることがあります。
○AC電源アダプターを分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。
○本製品はAC電源アダプターのコードが突っ張らない程度の位置でご使用になり、異常が起きた場合はただちにコンセントからAC電源アダプターを抜いてください。

シガーソケット電源アダプターについて

警告

指示

○シガーソケット電源アダプターは、12V車のシガーソケットに接続してください。12V車以外のシガーソケットを使用すると、火災・感電の原因となります。
○シガーソケット電源アダプターの使用時は、運転の邪魔にならないようにしてください。また、必ず付属のシガーソケット電源アダプターをご使用ください。
○自動車の運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認した上で行ってください。
○コードを傷つけないでください。火災や断線の原因となります。
○濡れた手で触らないでください。感電する恐れがあります。
○安全のため、以下の場所には取り付けないでください。
エアバッグの効果の妨げになる場所/運転の妨げになる場所/突起物として危険が生じる場所/強い衝撃が加わる場所

禁止

○本製品を車の空調吹き出し口などの温度、湿度が特に高い場所、直射日光があたる場所には放置しないでください。特に夏の車内は非常に高温になる場合がありますのでご注意ください。内蔵バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電、故障の原因となります。また本体の変形や故障の原因にもなります。
○シガーソケット電源アダプターを車のシガーソケットに差し込むときに、根元まで完全に差込まれたことを確認してください。
○シガーソケット電源アダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意

シガーソケット電源アダプターについて

注意

禁止

○シガーソケット電源アダプターを、布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障の原因となることがあります。
○シガーソケット電源アダプターを分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。
○車種によっては、シガーソケットの形状が適合しない場合があります。ご注意ください。
○車種によってはエンジン始動時に瞬間的に規定以上の電圧が供給される場合があります。そのような車種の場合は、エンジン始動時には本製品のシガーソケット電源アダプターを取り外しておいてください。
○車から離れる際は必ずシガーソケット電源アダプターをシガーソケットから取り外しておいてください。バッテリー上がりの原因となります。
○長期間ご使用にならない場合は、車内に放置しないでください。

充電池について

警告

指示

○本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。充電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、大ケガや火災の原因になります。
○充電を行う際は、必ず本製品付属のAC電源アダプターをご使用ください。それ以外の電源アダプターなどをご使用になると、充電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、大ケガや火災の原因になります。

禁止

○本製品に内蔵している充電池以外を使用しないでください。
○本製品を車の空調吹き出し口などの温度、湿度が特に高い場所、直射日光があたる場所には放置しないでください。特に夏の車内は非常に高温になる場合がありますのでご注意ください。充電池の液漏れ、発熱、破裂、感電、故障の原因となります。また本体の変形や故障の原因にもなります。
○充電池が液漏れしたり、変色、変形その他の異常があった場合は、直ちに使用を中止してください。
○充電池の充電が所定充電時間を超えても完了しない場合は、充電を中止してください。
○本製品を乱暴に扱ったり、強い衝撃を与えないでください。
○充電池から漏れた液体が皮膚や服についた場合は、すぐに水で洗浄してください。万一、液体が目に入ってしまった場合には、すぐに大量の水で洗浄し、直ちに医師に相談してください。
○万一、製品が異常に熱くなる、異臭や煙りが出た場合や、機器の内部に異物や水などが入ってしまった場合は、直ちに使用を中止してください。使用を中止しないと、火災や感電の原因となります。 使用中止後、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
○本製品をお手入れする場合には、主電源をオフにしてから行ってください感電や、充電池に異常が起こった場合、火傷の恐れがあります。

お使いになる前に必ずお読みください。

安全上の注意

防水について

○ディスク/本体両側面のカバーをしっかりと閉じた状態の本体、および付属のリモコンは、IP×6級耐水相当の防水性能を有しています。少々の雨や水しぶきのかかるような場所でも使用できる仕様ですが、すべての状況での動作を保証するものではありません。以下の点に十分にご注意ください。

禁止

○本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。
○浴室などの水まわりでのご使用の場合は、AC電源アダプターや他の機器との接続をしないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。

禁止

○本製品の防水性能は、常温（5～35℃）の真水や水道水のみに対応しています。以下の例のような液体をかけたり、浸したりしないでください。また、砂や泥なども付着させないでください。
例：石鹸水、洗剤、入浴剤の入った水、海水、プールの水、温泉、熱湯、薬品、汗など。
○強い水流（6リットル/分を超える）や高い水圧を直接かけたり、水面に落下させたり、水中に沈めたりしないでください。
○周囲温度や湿度は仕様の範囲内でご使用ください。
○ディスク、本体両側面のカバーを開閉する前に、十分に水滴を拭き取り、水のかかる恐れのない場所に運んでから乾いた手で行ってください。
○浴室などの湿度の高い場所での保管や長時間の放置はしないでください。
○水まわりでは、USBメモリやSDメモリーカードは使用しないでください。
○本体とリモコン以外の付属品は防水機能を有していません。水に濡れるような場所では使用しないでください。
○急激な温度変化は結露の原因となります。寒い場所から暖かい場所に持ち込む際は、本体が常温になってから行ってください。
○熱湯、サウナなどでは使用しないでください。また熱風（ドライヤー）などを本体に当てないようにご注意ください。
○本体を落下させるなど強い衝撃を与えないでください。防水機能が維持できなくなる場合があります。
○水まわりから移動する場合、隙間に水がたまっている場合がありますので、やわらかい布などで拭き取ってください。
○ディスク、本体両側面のカバーのまわりのゴムパッキンは、防水機能を維持するための重要な部品です。汚れや傷がつかないようにご注意ください。また、ゴミが付着した場合は水のかからない場所でやわらかい布などで拭き取ってください。
○故意に水中で使用したり、ディスクトレイ、本体両側面のカバーを開いた状態で使用すると内部に水が入ります。水の侵入による故障については保証対象外となります。
○本体、リモコン以外の付属品は、防水に対応していません。水に濡れないようにご注意ください。
○左右側面のカバーを開けて各種端子、各種メディアの接続を行っている時は、本体の防水機能は使用できません。水まわりでご使用の際は、全ての接続を外し、左右側面のカバーは開閉せずにしっかりと閉めてください。また、同様にディスクトレイのカバーの開閉も行わないでください。

お使いになる前に必ずお読みください。

使用上のお願い

取り扱いに関して

●引っ越しなどで遠くへ運ぶ場合は、傷がつかないように本製品の外装箱などをご使用ください。
●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
●長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
●普段使用しない時は、必ず電源を切っておいてください。
●長時間使用しない時は、機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて、使用してください。

置き場所に関して

●本製品は水平な場所に設置してください。ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所で使用しないでください。部品などが外れるなどして、故障の原因となります。
●本製品をテレビやラジオ、ビデオなどの機器の近くに置く場合には、本製品で再生中に、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオなどの機器から離してください。

お手入れに関して

●本体や操作パネル部分などの汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
●汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露（露付き）に関して

●結露は本製品を傷めます。 下記をよくお読みください。
●結露は以下の状況などでよく生じます。
・本製品を寒いところから、急に暖かいところに移動した時。
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなど冷風が直接あたる場所で使用した時。
・夏季に、冷房のきいた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時。
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用した時。
※結露が生じそうな場合は、本製品をすぐにご使用にならないでください。
●結露が生じた状態で本製品を使用すると、ディスクや各部品を傷めることがあります。ディスクやメディアを取り外し、本製品のAC電源アダプターをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと本製品が温まるので、2～3時間程度で水滴をとります。または、コンセントに接続しておくと結露が生じにくくなります。

日本国内専用

●本製品を使用できるのは日本国内のみです。 外国では電源電圧等が異なりますので使用することができません。

ディスクの取り扱い

本製品で再生できるディスク

本製品では、下記の種類のディスクを再生することができます。

メディア	ロゴマーク	記録内容	ディスクサイズ
DVDビデオディスク		映像(動画)+音声	12cm
音楽CD		音　声	12cm

●以下のディスクも再生できます。(表記以外のディスクは再生できません。)

○ CPRM方式で記録されたDVD-R/-RW　○ DVD-R/-RW(VRモード)
○ DVD-R/-RW(ビデオモード)　○ CD-R/CD-RW(MP3/WMA/MPEG-1、-2、-4/JPEG)

取り扱いデータに関して

●上記のディスクでも、規格外のディスクや、傷や汚れ、記録状態や記録機器、記録ソフトの特性等により、操作や再生ができないことがあります。
●すべての記録終了時に、終了情報を記録するファイナライズ処理を正しく行われていないディスクは再生できません。
●本製品のDVDプレーヤー機能は NTSCテレビ方式に適合しています。他のテレビ方式(SECAM/PAL)表示のディスクは使用できません。
●本製品のDVDリージョン番号は『2』です。再生するDVDにリージョン番号が表示されている場合は、そのリージョン番号マークの中に『2』または『ALL』が表示されていないと、本製品では再生することができません。
●円形以外の特殊な形状(カード型等)のディスク、紙やシールの貼られたディスクは再生できません。
●複製制限機能 (コピーコントロール機能) のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生することができない場合があります。
●HD-DVDやBlue-rayなどの次世代メディアには対応しておりません。
●マクロフリーには対応しておりません。
●海賊版ディスクを再生すると、故障の原因となりますので、ご購入の際は正規品をご購入ください。海賊版などを再生して故障した場合は、保証適用とはなりませんので、ご注意ください。
●指紋やキズのついているディスクは正常に再生できない場合があります。また、CD-R/-RW、DVD-R/-RWメディアは相性によっては再生できない可能性があります。
●CPRM方式で記録されたディスクでも、場合によっては正常に再生できない場合があります。
●ハードディスクレコーダーなどの再生メディアの場合、記録形式によっては正常に再生できない場合があります。

ディスクの取り扱い

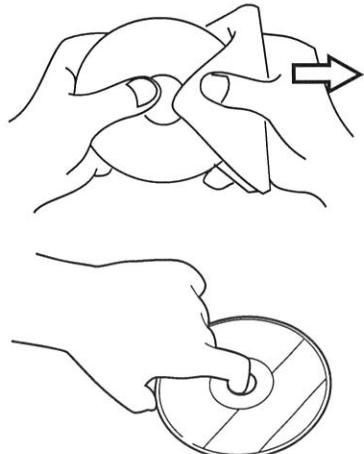
レンタルDVD/CDについて

●ディスクにセロハンテープやラベルなどののりがはみ出していたり、剥がしたあとがあるもの、また、飾り用のシールなどを貼ったものはご使用にならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

●複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品では再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクについた指紋やホコリなどの汚れは、画質、音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
●よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
●再生面には手を触れないでください。

※ディスクに紙やシールを貼らないでください。
※シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。
※鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
※傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
※市販のラベルプリンターでディスク面に印刷をしたディスクは使わないでください。

ディスクの保管方法

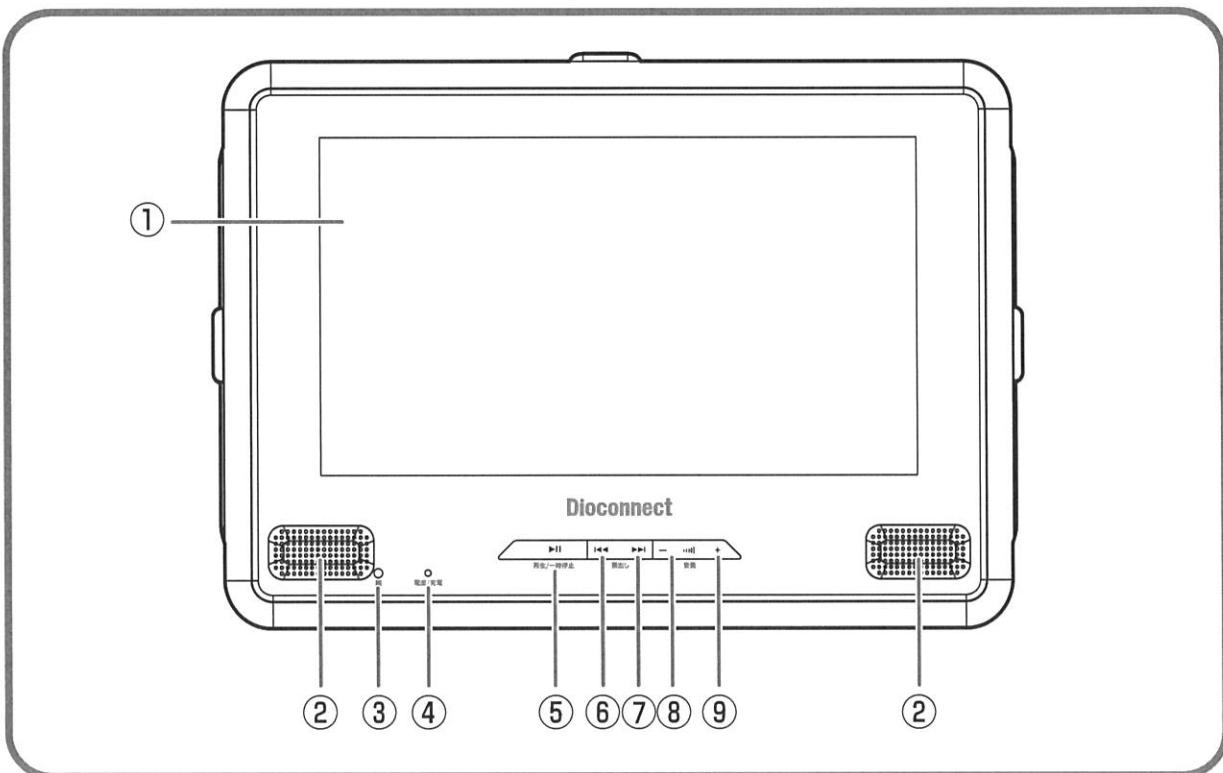
●直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
●ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

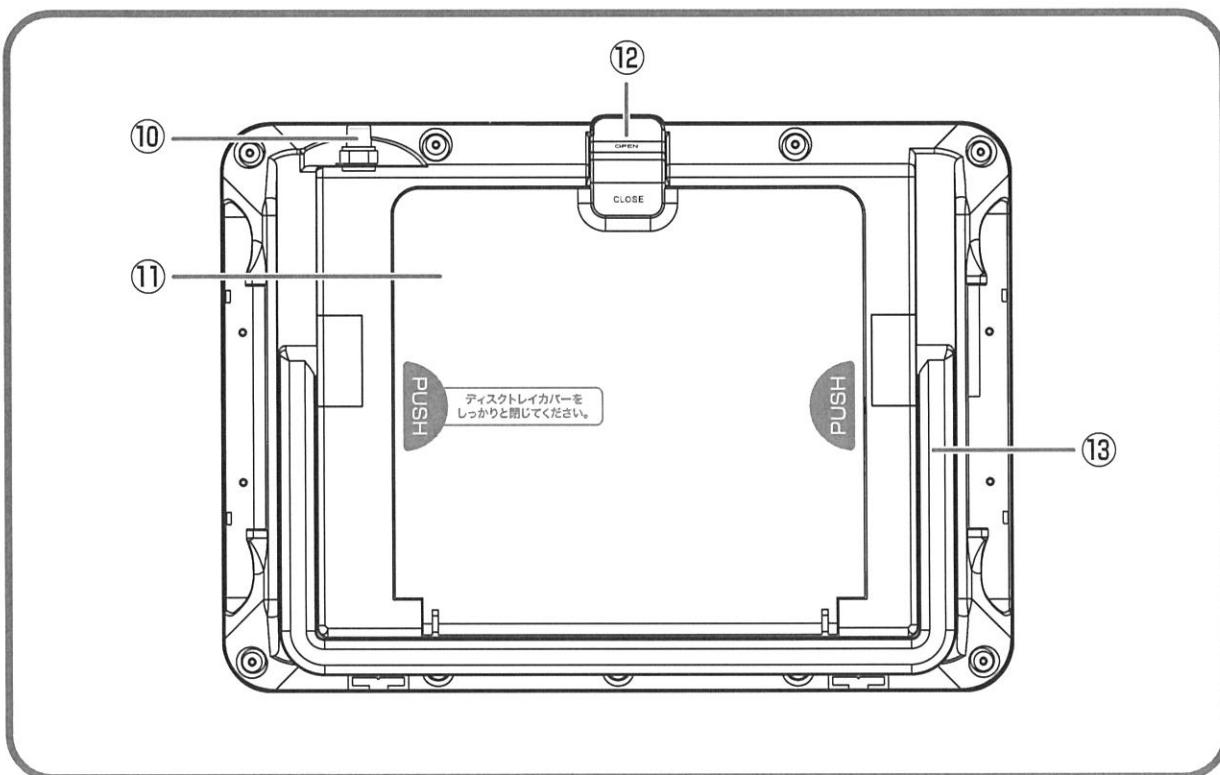
著作権法上の注意

●あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ディスクの取り扱い

ディスクに関する用語

●一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。音楽用CDなどは「トラック」で区切られています。

●それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。
●ディスクによっては、それぞれに番号が記録されていない場合もあります。

本体の各部名称

本体正面

① ディスプレイ
映像や画像を表示します。

② 内蔵スピーカー
音声を出力します。

③ リモコン受光部
リモコンの信号を受ける場所です。

④ 電源/充電ランプ
電源のオン/オフと充電の状態にランプの状態で確認します。
電源をオンにすると緑のランプが点灯し、充電中は赤のランプが点灯します。充電が完了すると、赤のランプは消灯します。
また、電源がオンの状態で充電も同時に行うと、緑と赤のランプが同時に点灯します。

⑤ 再生/一時停止（ ▶II ）ボタン
ディスクやファイルを再生します。再生中にもう一度ボタンを押すと、再生が一時停止します。

⑥ 頭出し（ I◀◀ ）ボタン
前のチャプターやトラックの頭出しをします。

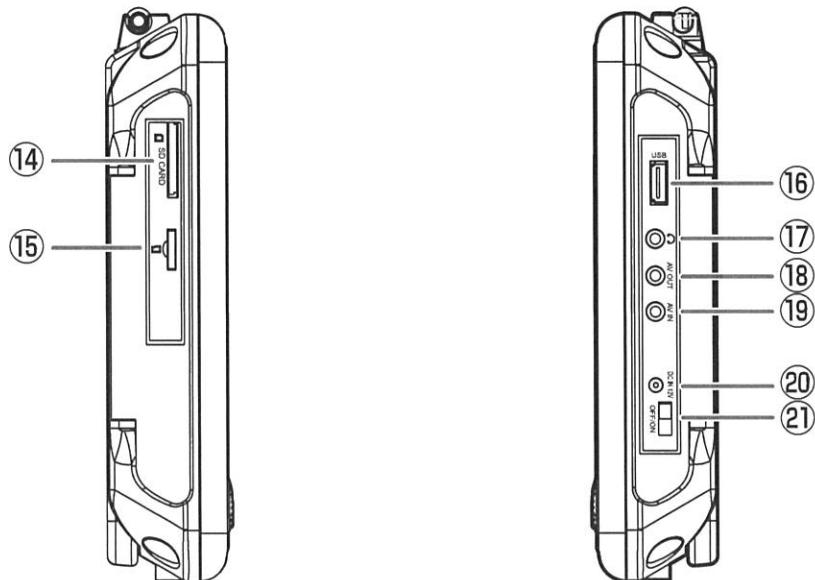
⑦ 頭出し（ ▶▶I ）ボタン
次のチャプターやトラックの頭出しをします。

⑧ 音量（−）ボタン
音量を下げます。

⑨ 音量（+）ボタン
音量を上げます。

本体の各部名称

本体背面

⑩ アンテナ入力端子
アンテナと接続します。
3種類のアンテナと接続する方法があります。
(P.47参照)

⑪ ディスクトレイカバー/ディスクトレイ
カバーを開け、DVD/CDをセットします。

⑫ ディスクトレイ開閉部
ディスクトレイを開閉します。閉じる時は「CLOSE」の箇所と、カバー上の「PUSH」2箇所、合計3箇所をしっかりと指で押して閉じます。

⑬ ハンドル
ハンドルの角度を調整して、本製品を立てることができます。

本体の各部名称

本体左側面・右側面

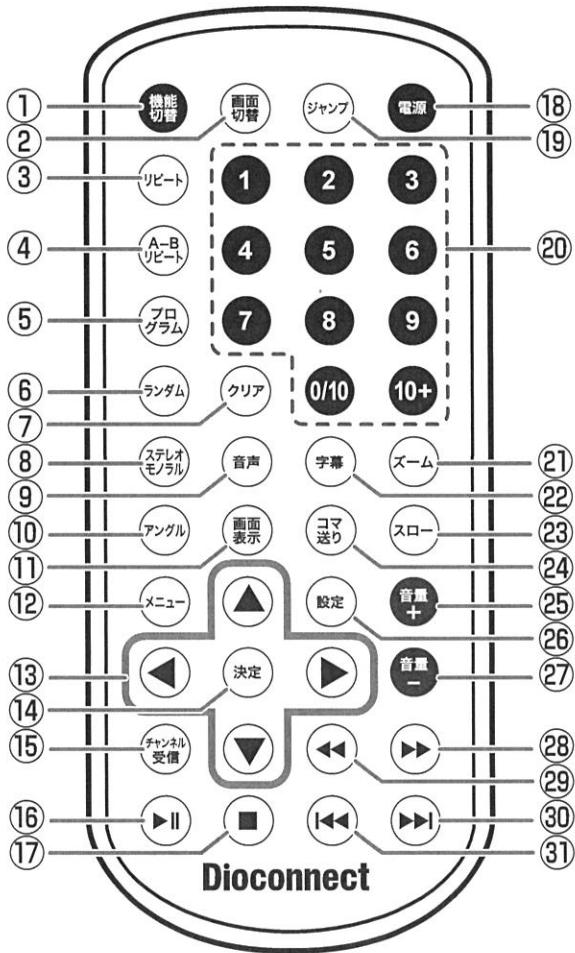
⑭ SDメモリーカードスロット
SDメモリーカードを挿入し、メインモードで**「ファイル再生」**を行うことができます。miniSDメモリーカード、microSDメモリーカードをご使用になる場合は、それぞれアダプターを装着する必要があります。

⑮ microSDメモリーカードスロット
microSDメモリーカードを挿入し、**「ワンセグモードで録画/再生」**をすることができます。

⑯ USBポート
USBメモリを接続し、ファイル再生と音楽CDからの録音をすることができます。

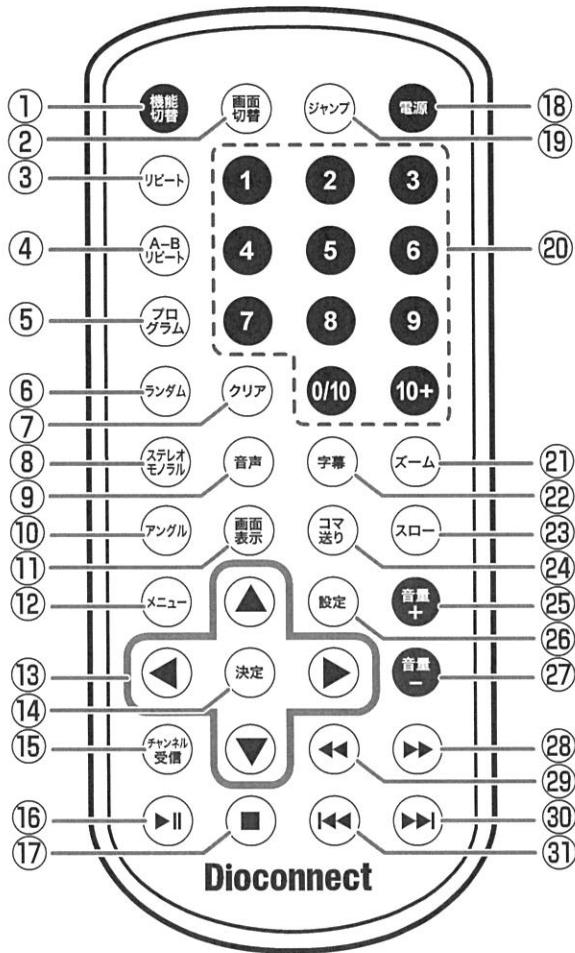
⑰ ヘッドフォン/イヤフォン端子
市販品のヘッドフォン/イヤフォンを使用する際にこの端子に接続します。

⑱ 映像/音声出力端子
付属の映像/音声ケーブル（黄/赤/白端子）で外部機器と接続し、本製品の映像/音声を外部機器に出力します。

⑲ 映像/音声入力端子
付属の映像/音声ケーブル（黄/赤/白端子）で外部機器と接続し、外部機器の映像/音声を本製品に入力します。

⑳ 電源入力端子
付属のAC電源アダプター/シガーソケット電源アダプターを接続します。

㉑ 主電源スイッチ
主電源のオン/オフをします。
※長時間本製品を使用しない場合は、必ず主電源をオフにしてください。

リモコン

リモコンの各部名称 その1

① **機能切替ボタン**
ディスク再生、外部出力(AV)、ワンセグ(TV)のモード切り替えします。

② **画面切替ボタン**
画面サイズを「16:9」、「4:3」のいずれかに切り替えます。

③ **リピート/録画ボタン**
リピート再生をします。
ワンセグモードでは、microSDメモリーカード(市販品)の挿入時に、視聴中の番組の録画/再生をすることができます。

④ **A−Bリピートボタン**
ディスク/ファイル再生で、区間を設定してリピート再生することができます。一度ボタンを押すとリピートの開始点(A)が設定され、終了点(B)にしたいところでもう一度ボタンを押すと、A−Bリピートが設定されます。

⑤ **プログラムボタン**
DVD/CDで、お好みのプログラムを設定して再生します。

⑥ **ランダムボタン**
DVD/CDで、ランダム再生をします。

⑦ **クリアボタン**
DVD/CDで、プログラム設定をしたチャプター/タイトル/トラックをクリア(解除)します。

⑧ **ステレオ/モノラルボタン**
本製品の音声出力をステレオ/モノラルに切り替えます。

⑨ **音声ボタン**
複数の音声を収録しているDVDの再生時、音声を切り替えます。
ワンセグモードでは主音声/副音声/主+副音声を切り替えます。

⑩ **アングル/番組表ボタン**
異なるアングルを収録しているDVDの再生時に、アングルを切り替えます。
ワンセグモードでは番組表(EPG)を表示します。

⑪ **画面表示ボタン**
現在再生中のディスクの情報を表示します。
ワンセグモードではチャンネル表を表示します。

⑫ **メニューボタン**
DVD再生時に、最初のメニュー画面に戻ります。

⑬ **十字(▲/▼/◀/▶)ボタン**
メニュー画面や各設定画面などで、項目を移動します。

⑭ **決定ボタン**
メニュー画面や各設定画面などで、項目を決定します。

⑮ **チャンネル受信ボタン**
ワンセグモードで受信可能な放送局を自動受信します。

⑯ **再生/一時停止(▶II)ボタン**
ディスク、ファイルを再生します。もう一度ボタンを押すと再生が一時停止します。

⑰ **停止(■)ボタン**
ディスクを停止します。再生ボタンを押すと停止箇所から再生をします。
停止時にもう一度ボタンを押すと、再生が完全に停止します。
※音楽CD、音声/映像ファイルの場合は一度ボタンを押すと、再生が完全停止します。

リモコン

リモコンの各部名称 その2

⑱ **電源ボタン**
主電源がオンの状態の時のみ、リモコンの電源ボタンを押すと電源がスタンバイ状態になります。再度リモコンの電源ボタンを押すと、スタンバイ状態が解除され、電源がオンになります。

⑲ **ジャンプボタン**
DVD/CD/ファイル再生時にジャンプ画面を表示します。
数字ボタンを押してジャンプしたいチャプター番号や時間、トラック番号、ファイル番号などを入力します。

⑳ **数字ボタン**
プログラム作成、暗証番号入力、CDのトラックの直接選択、ディスクのタイトル/チャプター/時間指定等、数字入力をする際に使用します。
ワンセグモードではチャンネルボタンとして使用します。

㉑ **ズームボタン**
DVDの再生時、映像を拡大/縮小表示することができます。
また、動画/静止画ファイルが記録されたCDの再生時も、映像/画像を拡大/縮小表示することができます。
※ディスクや記録ファイルによっては拡大/縮小表示できない場合があります。

㉒ **字幕/録音ボタン**
DVD再生時、ワンセグ視聴時に字幕言語を切り換えることができます。
※字幕の切り換えは、複数の字幕言語が記録されているDVDを再生している時に可能です。
音楽CDを挿入し、USBメモリを接続している状態でこのボタンを押すと、USBメモリへのMP3録音の画面が表示されます。

㉓ **スローボタン**
再生中の映像をスロー再生します。ボタンを押すごとに、先送り「1/2」→「1/4」→「1/8」→「1/16」→巻き戻し「1/2」→「1/4」→「1/8」→「1/16」→「通常再生」の順に切り替わります。

㉔ **コマ送りボタン**
再生中の映像をコマ送りします。

㉕ **音量ボタン(+)**
音量を上げます。

㉖ **設定ボタン**
設定画面を表示します。

㉗ **音量ボタン(−)**
音量を下げます。

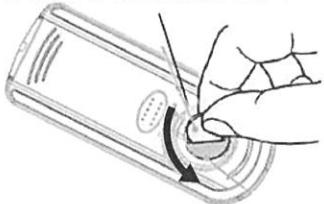
㉘ **早送り(▶▶)ボタン**
再生を早送りします。ボタンを押すごとに「2×」→「4×」→「8×」→「16×」→「32×」→「通常再生」の順に切り替わります。

㉙ **早戻し(◀◀)ボタン**
再生を早戻しします。ボタンを押すごとに「2×」→「4×」→「8×」→「16×」→「32×」→「通常再生」の順に切り替わります。

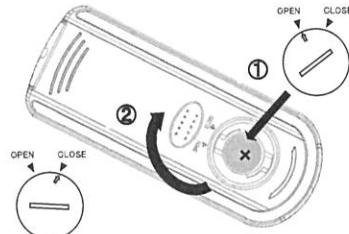
㉚ **頭出し(▶▶|)ボタン**
次のチャプターやトラックの頭出しをします。

㉛ **頭出し(|◀◀)ボタン**
前のチャプターやトラックの頭出しをします。

リモコンを使う

⚠ 注意

禁止

○リモコンに使用する電池について
・極性〔(+)と(−)〕の方向を間違えて挿入しないでください。
・加熱、分解、ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。
・電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎていたり、使い切って残量のない電池は、リモコンに入れたままにしておかないでください。液漏れの原因となります。
これらを守らないと、液もれや破裂などにより、火傷やケガの原因となることがあります。もし液体が皮膚や衣類についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。器具に付着した場合は、液体に直接触れないで拭き取ってください。

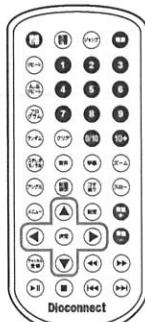
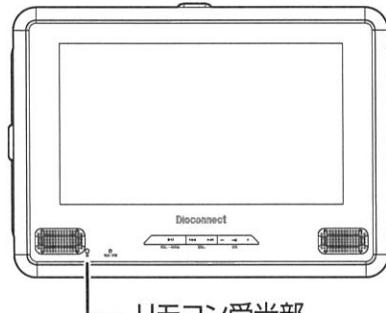
電池の交換について

① リモコン背面の蓋のくぼみにコインを入れ、下図矢印の方向にまわして蓋を開けます。

② ボタン型リチウム電池（CR2025）の「+極」を上向きにしてセットします。

③ 電池蓋の「↑」を「OPEN」の位置に合わせてはめ込み、くぼみにコインを入れ、「CLOSE」の方向にまわして蓋を閉じます。

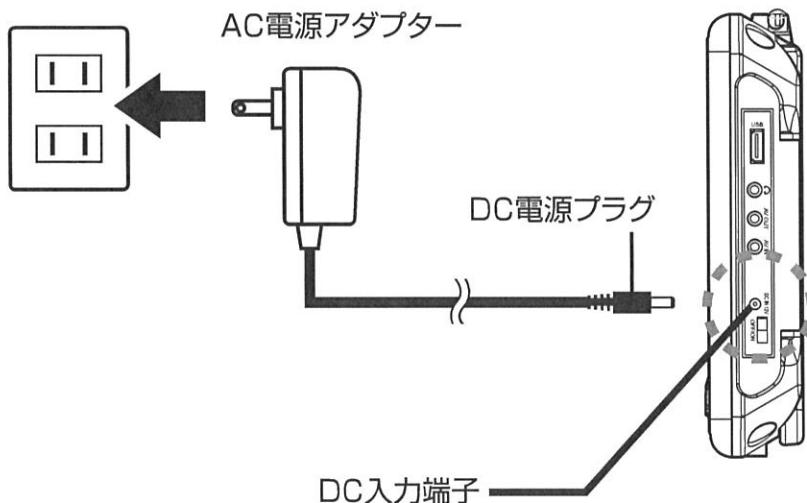
ご注意
ご使用になる前に必ず蓋を開け、電池の絶縁シートを取り外してください。

リモコンの使い方

●リモコンを、本体のリモコン受光部に向けてボタンを押します。
※リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光が当たると、リモコンが動作しないことがあります。

注意

●電池について
リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなった場合は、新しい電池と交換してください。
●リモコンについて
・落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
・高温になる場所に置かないでください。
・電池蓋の中の防水ゴムをなくさないように注意してください。

電源について

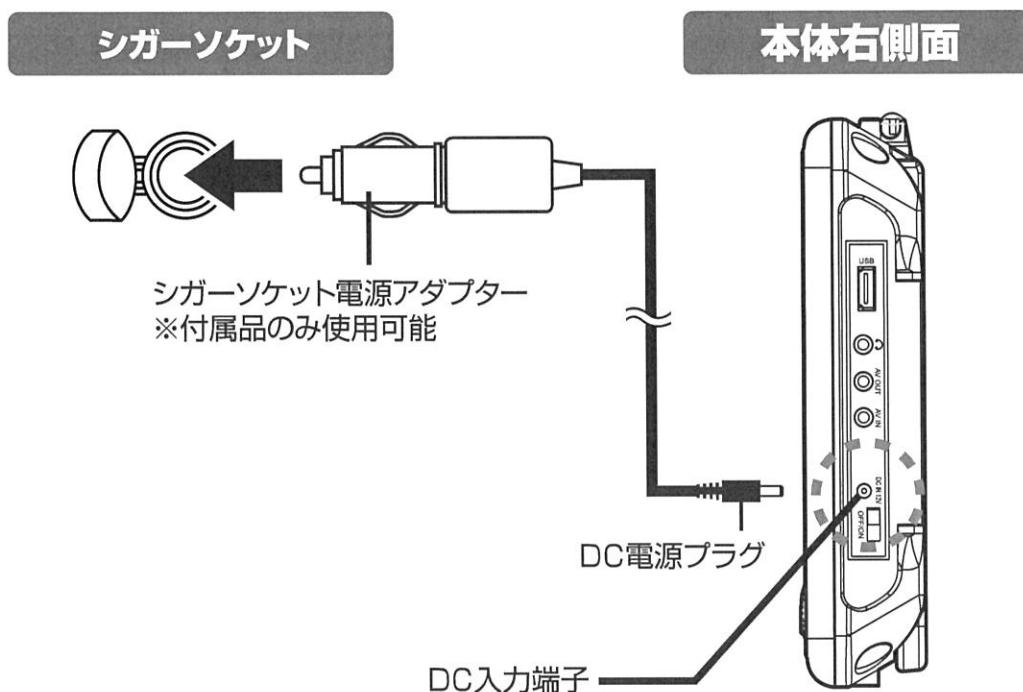
本製品は、以下の給電で使用できます。
❶付属のAC電源アダプター接続による給電（本ページ参照）
❷内蔵充電池を充電しての給電（本ページ参照）
❸付属のシガーソケット電源アダプター接続による給電（→P.21）

AC電源アダプターの接続

○接続する前に
・主電源を「OFF」にしてください。
・AC電源アダプターを本体に接続する時は、本体にDC電源プラグを差し込んでから家庭用電源コンセントに接続してください。
・全ての接続が完了した後に、主電源スイッチを「ON」にし、電源を入れてください。

充電池の充電

○内蔵充電池の充電はAC電源アダプターで行います。
・主電源を「OFF」にしてください。
・前項を参考に、本製品をAC電源アダプターで家庭用電源コンセントに接続してください。充電が開始されます。
・充電中は本体の赤色の充電ランプが点灯します。充電が終了すると赤色の充電ランプが消灯します。
・充電が終了したら、速やかにAC電源アダプターの接続を解除します。

必要充電時間：約5時間
使用可能時間：約1.5～2時間

※充電終了後に再び充電を行う際は、過充電しないよう、10～20分間程、時間をおいてから再充電を行ってください。
※プレーヤーを使用中に充電する場合は、完了に約8時間程かかります。

注意

●充電を行う際は、必ず付属のAC電源アダプターをご使用ください。

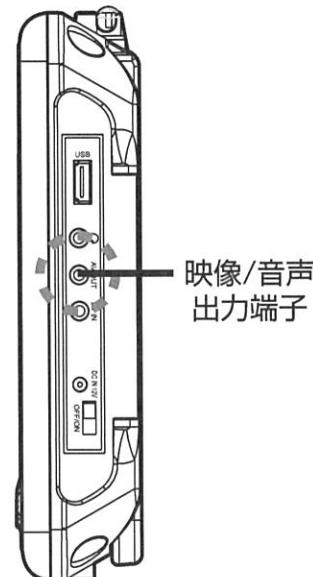
電源について

シガーソケット電源アダプターの接続

○シガーソケット電源アダプターを本体に接続する時は、本体にDC電源プラグを差し込んでから自動車のシガーソケットに接続してください。

注意

●このシガーソケット電源アダプターは12Vマイナスアース車（通常の乗用車）専用です。トラックなどの**24Vの自動車では使用することができません**。ショートなどの原因となりますので、絶対におやめください。
●夏期など、車内が高温になる場合は、車内に放置しないでください。

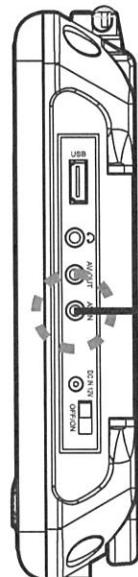
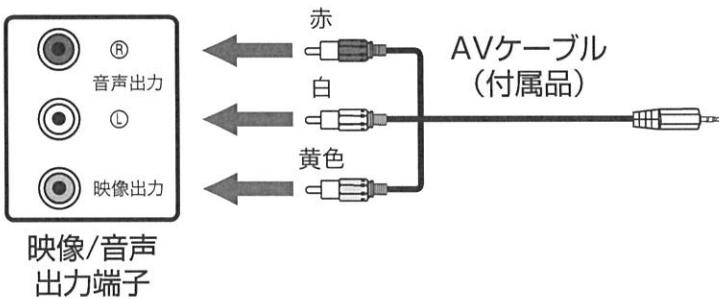
外部出力の接続をする

・接続する時は、必ず本製品及び外部機器の電源をオフにし、電源をコンセントから抜いて行ってください。
・接続前に、接続する機器の説明書もお読みください。

○本製品の映像/音声を外部機器へ出力することができます。
図の接続方法に従って、製品の接続を行ってください。

注意

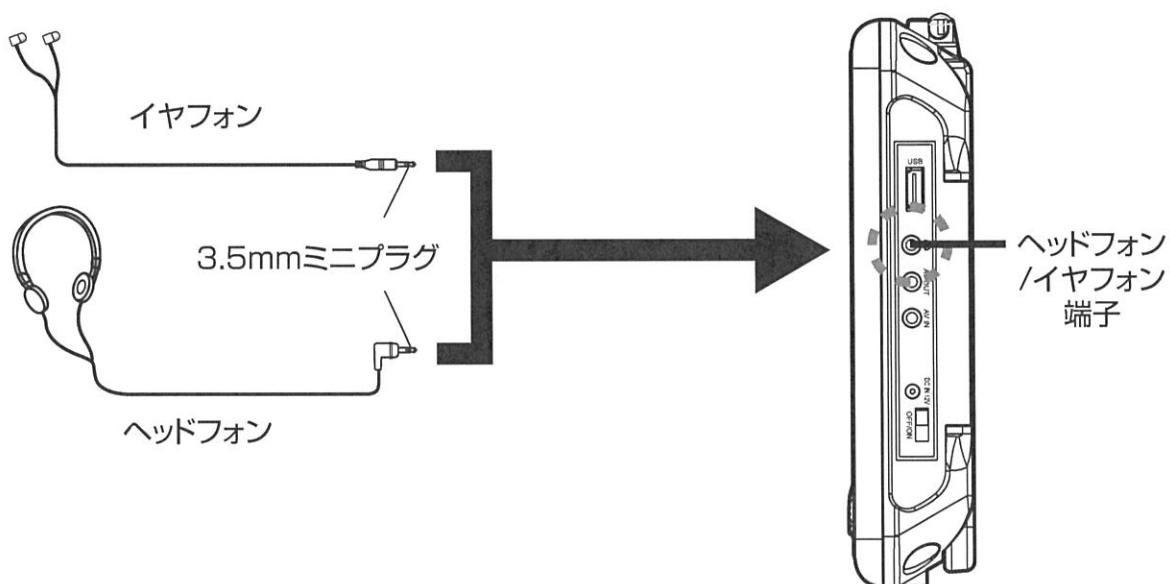
※接続する外部機器によっては、ご使用になれない場合があります。
※本製品と外部機器は直接接続してください。DVD/BDレコーダー、セレクターなど、他の機器を通してご覧になると、コピー防止の働きなどにより正常な画像にならないことがあります。
※接続する機器によっては、画面上の表示位置がずれてしまう場合がございます。予めご了承ください。
※音声入力がモノラルの場合は、白のケーブルを接続してください。
※詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
※ノイズが入る場合は、本製品と外部機器との間に十分な距離を置いてください。
※本製品のワンセグモードは、外部出力を行うことができません。

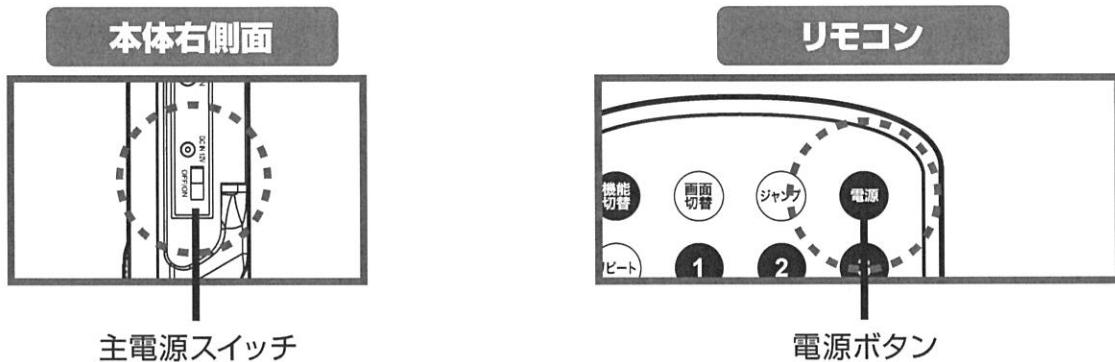
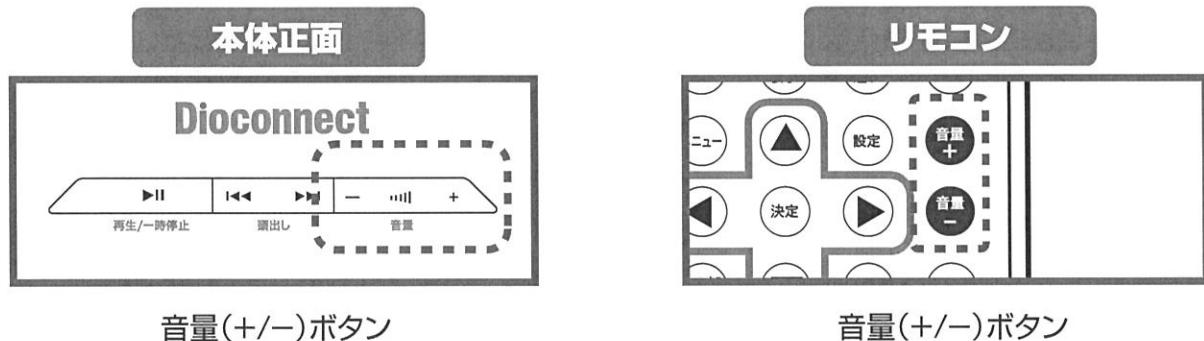
外部入力の接続をする

・接続する時は、必ず本製品及び外部機器の電源をオフにし、電源をコンセントから抜いて行ってください。
・接続前に、接続する機器の説明書もお読みください。

○本製品で外部機器の映像/音声を入力することができます。
図の接続方法に従って、製品の接続を行ってください。

①上図を参照し、本体と外部機器をAVケーブル(付属品)で接続します。
②本体の主電源と接続機器の電源をオンにします。
③リモコンの**「機能切替ボタン」**を押して、『AV』モードにします。

注意

※接続する外部機器によっては、ご使用になれない場合があります。
※本製品と外部機器は直接接続してください。DVD/BDレコーダー、セレクターなど、他の機器を通してご覧になると、コピー防止の働きなどにより正常な画像にならないことがあります。
※接続する機器によっては、画面上の表示位置がずれてしまう場合がございます。予めご了承ください。
※音声入力がモノラルの場合は、白のケーブルを接続してください。
※詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
※ノイズが入る場合は、本製品と外部機器との間に十分な距離を置いてください。
※画面の切り替え時に、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行うため、画面が一瞬ちらつく場合がありますが、故障ではありません。また、切り替えに少々時間がかかる場合があります。

ヘッドフォン/イヤフォンを接続する

○本製品の音声をヘッドフォン/イヤフォンで聴くことができます。
○本製品にはイヤフォンが一つ付属しておりますが、ヘッドフォンやその他のイヤフォンをご使用になる場合は市販品をご使用ください。

●本体のヘッドフォン出力端子に、ヘッドフォン/イヤフォンを接続します。
ヘッドフォン/イヤフォンを接続すると、本体の音声出力がヘッドフォン/イヤフォン優先になり、スピーカーからは音が出力されなくなります。
※ヘッドフォン/イヤフォンを接続する際は、事前に音量を下げてから接続を行ってください。

電源のオン/オフ

○本体の**「主電源スイッチ」**を「ON」に切り替えると電源がオンになります。
○電源がオンの状態でリモコンの**「電源ボタン」**を押すと電源がスタンバイ状態になります。
○本体の**「主電源スイッチ」**を「OFF」に切り替えると電源がオフになります。

本体右側面

主電源スイッチ

リモコン

電源ボタン

※長時間使用しない場合は主電源をオフにしてください。
※主電源がオンの状態の時のみ、リモコンの**「電源ボタン」**を押すと電源がスタンバイ状態になります。再度リモコンの**「電源ボタン」**を押すと、スタンバイ状態が解除され、電源がオンになります。

音量を調節する

○各モードボタンで本体またはリモコンの**「音量（+/−）ボタン」**を押して、音量を調節します

本体正面

音量（+/−）ボタン

リモコン

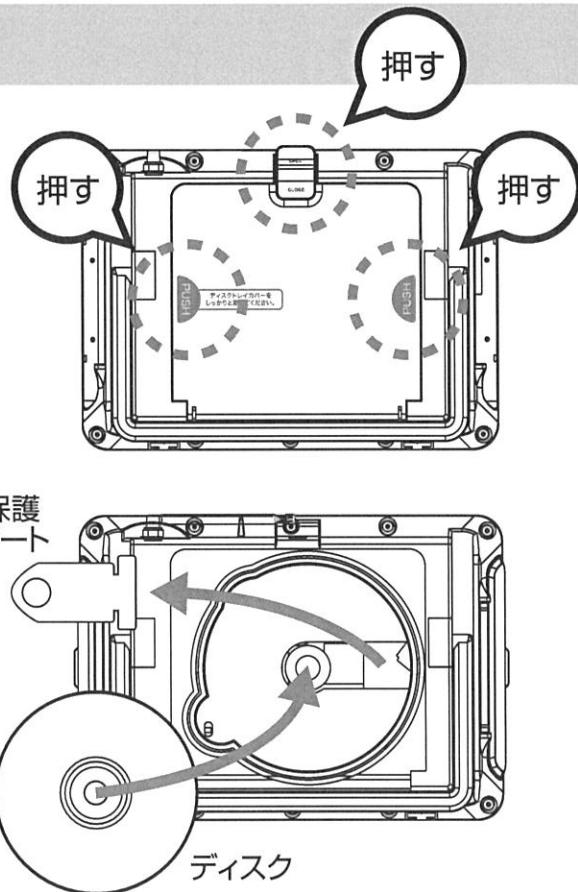
音量（+/−）ボタン

モードを切り替える

○モードを切り替える際は、リモコンの**「機能切替ボタン」**を押して**「メインモード」**、**「AVモード」**、**「TVモード」**のいずれかに切り替えます。

メインモード
●DVD、CD、SD、USBからディスク/ファイルを再生をする場合は、このモードに切り替えてください。 ➡ P.28～P.41を参照してください。

AVモード
●外部入力の映像/音声を本製品で視聴する場合は、このモードに切り替えてください。 ➡ P.23を参照してください。

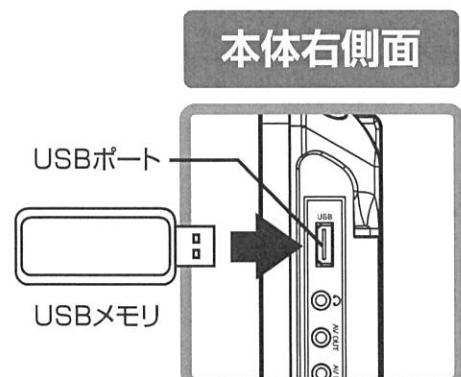
TVモード
●ワンセグ放送を視聴する場合は、このモードに切り替えてください。 ➡ P.47～P.54を参照してください。

メディアをセットする

ディスクをセットする

① 本体背面のディスクトレイ開閉部の「OPEN」の部分を押し開けます。

② ディスクのレーベル面を上にして、「カチッ」と音がするまでしっかりとセットします。

③ ディスクトレイを閉じる際は、右図を参照して、ディスクトレイの「CLOSE」の箇所と「PUSH」の2箇所、合計3箇所を指で押してしっかりと閉じます。

④ ディスクトレイを閉じると、自動的にディスクが読み込まれます。
USBかSDにメディアを切り替えている場合は、リモコンの**「設定ボタン」**を2回押してメディアの切り替え画面を表示し**「DVD」**を選択してください。

●工場出荷時は、ディスクトレイ内に保護シートが入っています。初めてのご使用時は、保護シートを取り除いてください。

USBメモリをセットする

○本製品は、USBメモリ（市販品）を接続して、保存されている動画/音楽/静止画ファイルの再生を行ったり、音楽CDからUSBメモリへMP3ファイル形式で録音をすることができます。

① 本体のUSBポートに、USBメモリ（市販品）を接続します。形状などにより直接の接続が難しい場合は、USBケーブル/USB延長ケーブル（共に市販品）を使用して接続してください。

② リモコンの**「設定ボタン」**を2回押してメディアの切り替え画面を表示します。

③ リモコンの**「十字（▲▼）ボタン」**を押して**「USB」**に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

④ USBメモリ内のファイルが自動的に読み込まれます。

メディア切替画面

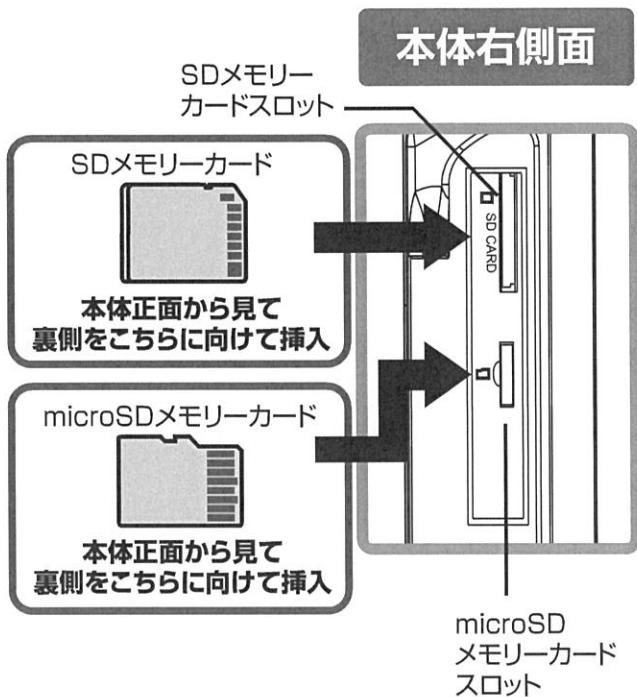
DVD
USB
CARD

メディアをセットする

SDメモリーカードをセットする

○SDメモリーカード(市販品)をセットして、保存されている動画/音楽/静止画ファイルの再生をすることができます。

○microSDメモリーカード(市販品)をセットして、ワンセグの録画/再生を行うことができます。

メインモードでのファイル再生対応

SDメモリーカードスロット側にセットしてファイル再生を行います。

○SDメモリーカード
○miniSDメモリーカード(要アダプター)
○microSDメモリーカード(要アダプター)

TVモードでのワンセグ録画/再生対応

microSDメモリーカードスロット側にmicroSDメモリーカードをセットしてワンセグの録画/再生を行います。

※SDメモリーカードにはワンセグは録画できません。

① 本体のSDメモリーカードスロット/microSDカードスロットに、メモリーカード(市販品)を奥でカチッとなるまでしっかりと奥まで挿入します。

② リモコンの**「設定ボタン」**を2回押してメディアの切り替え画面を表示します。

③ リモコンの**「十字(▲▼)ボタン」**を押して**「CARD」**に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

④ メモリーカード内のファイルが自動的に読み込まれます。
(何も記録されていないカードをセットした場合は、何も読み込まれません。)

⑤ メモリーカードを取り出す際は、一度カードを指で軽く押し、少し飛び出したカードを指でつまんで取り出します。

本体右側面

SDメモリーカードスロット

SDメモリーカード
本体正面から見て裏側をこちらに向けて挿入

SD CARD

microSDメモリーカード
本体正面から見て裏側をこちらに向けて挿入

microSDメモリーカードスロット

メディア切替画面

DVD
USB
CARD

注意

※一部対応していないメディアがあります。あらかじめご了承ください。
※記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態等によっては、操作·再生など行えない場合があります。
※表示されないファイルは本製品では再生できません。また表示されているファイルでも再生できない場合があります。
※ファイル名に表示できないコードがある時は、文字化けを起こす場合があります。
※USBメモリの接続やSDメモリーカードの挿入をする前に、一度本製品の主電源をオフにしてください。
※本製品は、外付けUSBハードディスク、マルチカードリーダーには対応しておりません。
※本製品は、USBフラッシュメモリ対応です(FAT32/16)。お手持ちのUSBフラッシュメモリがFAT16/FAT32かどうかご確認ください。その他のファイルシステムはサポート対象外です。

DVDを視聴する

○本製品では、DVDビデオ、DVD-R/-RW(ビデオフォーマット/VRモード)、CPRM方式で記録されたDVD-R/-RWを再生することができます。

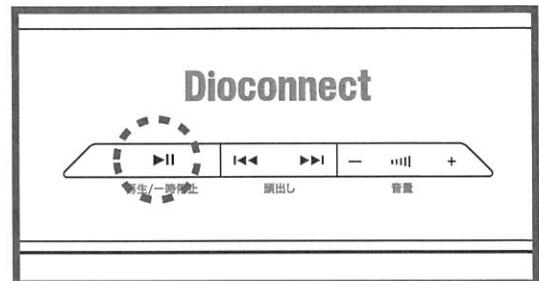
メインモードにする

●本体の電源をオンにすると、自動的に**「メインモード」**になります。
●他のモードを選択している場合は、リモコンの**「機能切替ボタン」**を押して、**「メインモード」**に切り替えてください。
●USBかSDにメディアを切り替えている場合は、リモコンの**「設定ボタン」**を2回押してメディアの切り替え画面を表示し**「DVD」**を選択してください。

本体正面

使用するボタン

DVDをセットする

●P.26を参照してください。

リモコン

使用するボタン

DVD再生の操作と機能

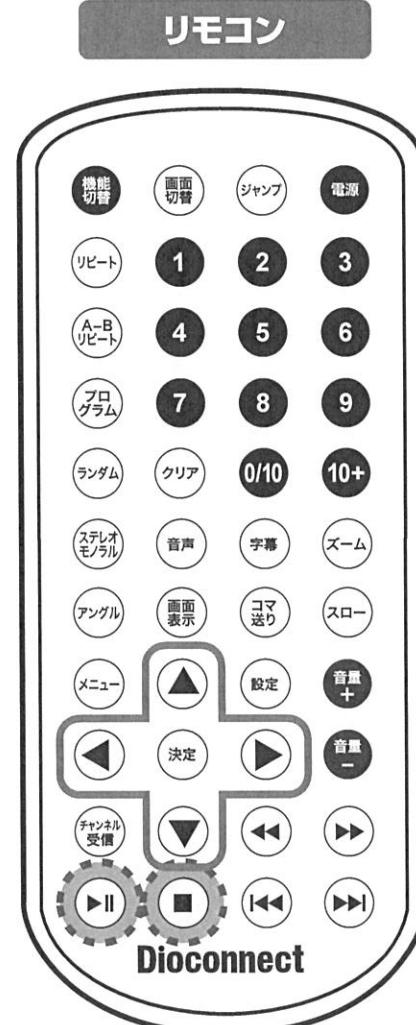
再生

●本体もしくはリモコンの**「再生/一時停止(▶II)ボタン」**を押して再生します。

一時停止

●ディスクの再生中に本体もしくはリモコンの**「再生/一時停止(▶II)ボタン」**を押して一時停止します。

●一時停止を解除するには本体もしくはリモコンの**「再生/一時停止(▶II)ボタン」**を押し、再生を再開します。

停止

●リモコンの**「停止(■)ボタン」**を押して再生を停止します。
その後再生/一時停止ボタンを押すと、停止した位置から再生を再開します。
停止ボタンを2回押すと、DVDの再生は完全に停止されます。

DVDを視聴する

次のチャプターへ頭出しする

●本体もしくはリモコンの**「頭出し(▶▶I)ボタン」**を押して次のチャプターを頭出しします。

前のチャプターへ頭出しする

●本体もしくはリモコンの**「頭出し(I◀◀)ボタン」**を押して前のチャプターを頭出しします。

早送りする

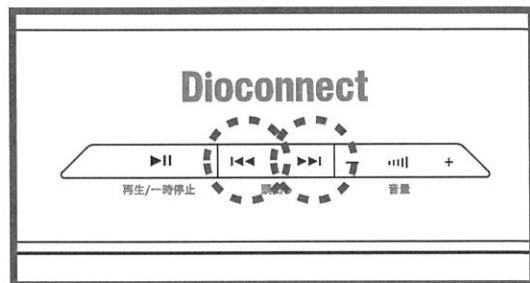
●リモコンの**「早送り(▶▶)ボタン」**を押して再生を早送りします。ボタンを押すごとに「2×」→「4×」→「8×」→「16×」→「32×」→「通常再生」の順に切り替わります。

早戻しする

●リモコンの**「早戻し(◀◀)ボタン」**を押して再生を早戻しします。ボタンを押すごとに「2×」→「4×」→「8×」→「16×」→「32×」→「通常再生」の順に切り替わります。

リピートボタン

●ボタンを押すごとに、リピートモードが切り替わります。

チャプター：	チャプターをリピートします。
タイトル：	タイトルをリピートします。
オール：	ディスク内のすべてのタイトルをリピートします。

A–Bリピートボタン

●区間を設定してリピート再生することができます。一度ボタンを押すとリピートの開始点(A)が設定され、終了点(B)にしたいところでもう一度ボタンを押すと、A–Bリピートが設定されます。

ランダムボタン

●DVDに記録されているタイトル/チャプターの順番を入れ替えてランダムに再生します。
リモコンの**「ランダムボタン」**を押してランダムモードに切り替えます。

●ランダム再生を停止する場合は、もう一度リモコンの**「ランダムボタン」**を押します。

本体正面

使用するボタン

リモコン

使用するボタン

DVDを視聴する

プログラムボタン/クリアボタン

●DVD内のタイトル/チャプターの中からお好みのタイトル/チャプターを選び、選んだ順にプログラム再生することができます。最大で20項目をプログラム登録することができます。

① リモコンの**「プログラムボタン」**を押すと、ディスプレイに**「プログラム設定画面」**が表示されます。

② リモコンの**「十字(▲/▼/◀/▶)ボタン」**を押してお好みのプログラム番号に移動します。

③ リモコンの**「数字ボタン」**を押して、ご希望のタイトル(TT)番号を入力します。

④ 次に、リモコンの**「数字ボタン」**を押して、ご希望のチャプター(CH)番号を入力します。

⑤ 次のプログラム番号以降の操作は、上記の2～4の手順を繰り返します。プログラムでは同じタイトル/チャプターを繰り返し選択することも可能です。
11～20のプログラム番号を設定したり、1～10のプログラム番号の設定に戻る場合は、画面の「⏮ ⏭」に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

●プログラム設定を完了する前に、プログラム設定したトラックはリモコンの**「クリアボタン」**で1つずつ解除することができます。
「プログラム設定画面」で解除したいプログラム番号に移動し、リモコンの**「クリアボタン」**を押します。

⑥ プログラムを登録し終わったら、画面の「開始」に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押してプログラム再生を開始します。

⑦ プログラム再生を停止する場合は、**「プログラム設定画面」**の**「停止」**に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。
「プログラム設定画面」を閉じる場合は、**「終了」**に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

●登録したプログラム設定を全解除する場合は、リモコンの**「停止(■)ボタン」**を押します。

リモコン

使用するボタン

プログラム画面

DVDを視聴する

音声ボタン

●他言語、多チャンネル音声が記録されているDVDを再生する場合、音声を選択することができます。
※ディスクによっては音声選択ができない場合があります。

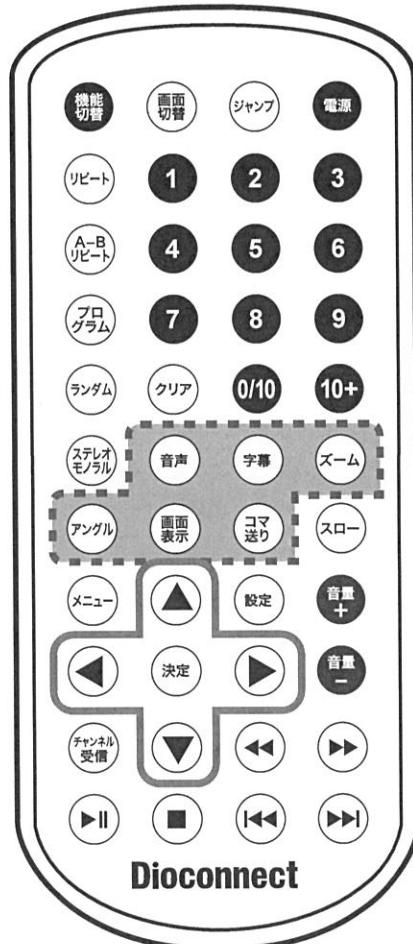
字幕ボタン

●他言語の字幕が記録されているDVDを再生する場合、字幕の言語を選択することができます。
※ディスクによっては字幕選択ができない場合があります。

ズームボタン

●DVDの再生時、映像を拡大/縮小表示することができます。ボタンを押すごとに「2×→3×→4×→1/2→1/3→1/4」の順に切り替わります。
※ディスクの種類や記録状況によっては拡大/縮小表示できない場合があります。

アングルボタン

●アングルが記録されているDVDを再生する場合、様々なアングルに切り替えることができます。
※拡大時には方向ボタンで表示位置を変える事が出来ます。

画面表示ボタン

●DVDの再生中に表示が切り替わります。
ボタンを押すごとに、「タイトル経過時間」→「タイトル残り時間」→「チャプター経過時間」→「チャプター残り時間」→「表示なし」の順に切り替わります。

画面表示の説明
T： タイトル番号 / タイトル総数
C： チャプター番号 / チャプター総数
O： 時間

コマ送りボタン

●DVDの再生中にコマ送り再生できます。ボタンを1度押すと1コマ進みます。**「再生/一時停止（ ▶II ）ボタン」**を押すと通常再生に戻ります。

リモコン

使用するボタン

DVDを視聴する

スローボタン

●再生中の動画をスロー再生します。ボタンを押すごとに、先送り「1/2」→「1/4」→「1/8」→「1/16」→巻き戻し「1/2」→「1/4」→「1/8」→「1/16」→「通常再生」の順に切り替わります。

メニューボタン

●DVDのメニューを表示します。
※表示内容はディスクによって異なります。

ジャンプボタン

●DVD再生時にジャンプ画面を表示します。
ボタンを押すごとに「チャプター(C)番号」→「タイトル(T)時間(TIME)」→「チャプター(C)時間(TIME)」の順に切り替わります。
数字ボタンを押してジャンプしたいチャプター番号や時間を入力します。

リモコン

注意

※ディスク/記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態等によっては、操作・再生など行えない場合があります。
※CPRM方式で記録されたディスクでも、場合によっては正常に再生できない場合があります。
※ハードディスクレコーダー等の再生メディアの場合、記録形式によっては正常に再生できない場合があります。

音楽CDを聴く

○本製品では、音楽CDや、CD-DAフォーマットで記録された音楽用CD-R/-RWの再生に対応しています。
※CD-DAフォーマットの音楽用CD-R/-RWは、録音終了時にファイナライズが必要です。また、条件を満たしても、記録の状態によっては再生できない場合があります。

メインモードにする

●本体の電源をオンにすると、自動的に**「メインモード」**になります。
●他のモードを選択している場合は、リモコンの**「機能切替ボタン」**を押して、**「メインモード」**に切り替えてください。
●USBかSDにメディアを切り替えている場合は、リモコンの**「設定ボタン」**を2回押してメディアの切り替え画面を表示し**「DVD」**を選択してください。

本体正面

使用するボタン

音楽CDをセットする

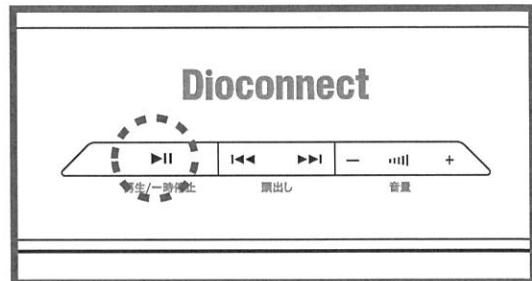
●P.26を参照してください。

リモコン

使用するボタン

音楽CD再生の操作と機能

再生

●本体もしくはリモコンの**「再生/一時停止（ ▶II ）ボタン」**を押して再生します。

一時停止

●ディスクの再生中に本体もしくはリモコンの**「再生/一時停止（ ▶II ）ボタン」**を押して一時停止します。

●一時停止を解除するには本体もしくはリモコンの**「再生/一時停止（ ▶II ）ボタン」**を押し、再生を再開します。

停止

●リモコンの**「停止（■）ボタン」**を押して再生を停止します。
その後再生／一時停止ボタンを押すと、停止した位置から再生を再開します。
停止ボタンを2回押すと、CDの再生は完全に停止されます。

音楽CDを聴く

次のトラックへ頭出しする

●本体もしくはリモコンの「頭出し(▶▶|)ボタン」を押して次のトラックを頭出しします。

前のトラックへ頭出しする

●本体もしくはリモコンの「頭出し(|◀◀)ボタン」を押して前のトラックを頭出しします。

早送りする

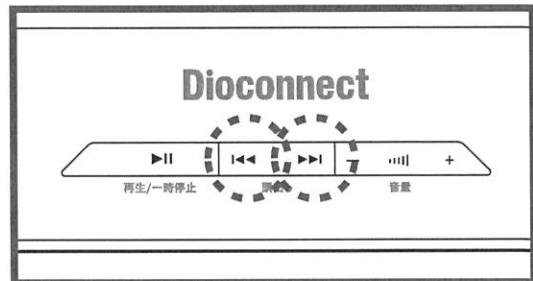
●リモコンの「早送り(▶▶)ボタン」を押して再生を早送りします。ボタンを押すごとに「2×」→「4×」→「8×」→「16×」→「32×」→「通常再生」の順に切り替わります。

早戻しする

●リモコンの「早戻し(◀◀)ボタン」を押して再生を早戻しします。ボタンを押すごとに「2×」→「4×」→「8×」→「16×」→「32×」→「通常再生」の順に切り替わります。

リピートボタン

●ボタンを押すごとに、リピートモードが切り替わります。

トラック：	トラックをリピートします。
オール：	ディスク内のすべてのトラックをリピートします。

A−Bリピートボタン

●区間を設定してリピート再生することができます。一度ボタンを押すとリピートの開始点(A)が設定され、終了点(B)にしたいところでもう一度ボタンを押すと、A−Bリピートが設定されます。

ランダムボタン

●CDに記録されているトラックの順番を入れ替えてランダムに再生します。
リモコンの**「ランダムボタン」**を押してランダムモードに切り替えます。
●ランダム再生を停止する場合は、もう一度リモコンの**「ランダムボタン」**を押します。

本体正面

使用するボタン

リモコン

使用するボタン

音楽CDを聴く

プログラムボタン/クリアボタン

●CD内のトラックの中からお好みのトラックを選び、選んだ順にプログラム再生することができます。最大で20項目をプログラム登録することができます。

① リモコンの**「プログラムボタン」**を押すと、ディスプレイに**「プログラム設定画面」**が表示されます。

② リモコンの**「十字(▲/▼/◀/▶)ボタン」**を押してお好みのプログラム番号に移動します。

③ リモコンの**「数字ボタン」**を押して、ご希望のトラック番号を入力します。

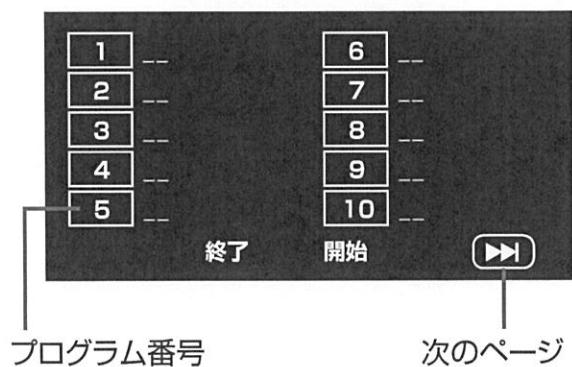
④ 次のプログラム番号以降の操作は、上記の2～3の手順を繰り返します。プログラムでは同じトラックを繰り返し選択することも可能です。
11～20のプログラム番号を設定したり、1～10のプログラム番号の設定に戻る場合は、画面の「⏮ ⏭」に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

●プログラム設定を完了する前に、プログラム設定したトラックはリモコンの**「クリアボタン」**で1つずつ解除することができます。
「プログラム設定画面」で解除したいプログラム番号に移動し、リモコンの**「クリアボタン」**を押します。

⑤ プログラムを登録し終わったら、画面の「開始」に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押してプログラム再生を開始します。

⑥ プログラム再生を停止する場合は、**「プログラム設定画面」**の**「停止」**に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。
「プログラム設定画面」を閉じる場合は、**「終了」**に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

●登録したプログラム設定を全解除する場合は、リモコンの**「停止(■)ボタン」**を押します。

ステレオ/モノラルボタン

●CDの音声をステレオかモノラルに切り替えます。
ボタンを押すごとに、「ステレオ」→「MONO(モノラル)左」→「MONO(モノラル)右」→「ミックスモノラル」の順に切り替わります。

※ミックスモノラルとは、ステレオ信号をモノラル信号にミックスし、左右のスピーカーから出力する方法です。例えば、右から音声、左から音楽が出力される音源などの場合に、左右からミックスした同じ音を出力することができます。

リモコン

使用するボタン

プログラム画面

音楽CDを聴く

画面表示ボタン

●CDの再生中に表示が切り替わります。
ボタンを押すごとに、「トータル経過時間」→「トータル残り時間」→「シングル経過時間」→「シングル残り時間」の順に切り替わります。

ジャンプボタン

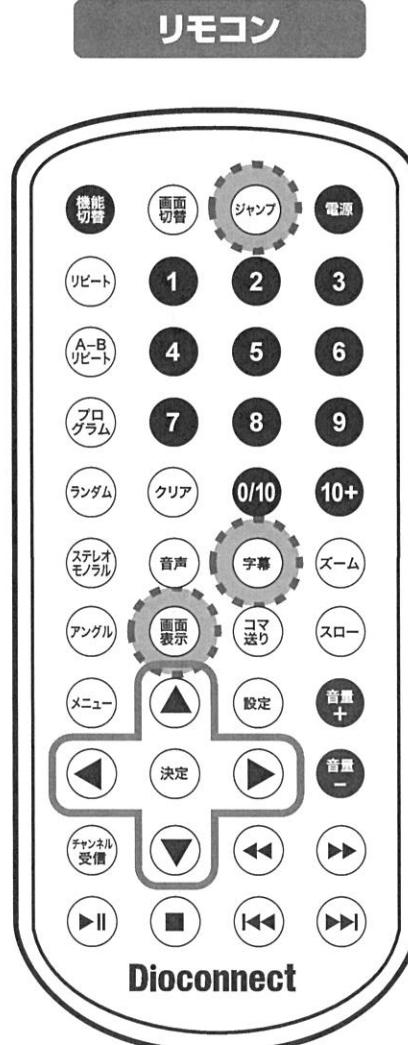
●CD再生時にジャンプ画面を表示します。
ボタンを押すごとに「ディスク時間」→「トラック時間」→「トラック選択」の順に切り替わります。
数字ボタンを押してジャンプしたいトラック番号や時間を入力します。

音楽CDからUSBメモリに録音する

録音ボタン(字幕ボタン)

●音楽CDを挿入し、USBメモリを接続している状態でこのボタンを押すと、USBメモリへのMP3録音の画面が表示され、録音を行うことができます。
●録音を開始する前に、P.26を参照して本製品にUSBメモリを接続してください。

① リモコンの**「録音(字幕)ボタン」**を押すと、ディスプレイに**「録音設定画面」**が表示されます。

② リモコンの**「十字(▲/▼)ボタン」**を押してオプションの項目を移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押して設定を変更します。

【オプション】

■ 速度:
録音スピードを設定します。

■ 録音品質
録音するMP3ファイルの録音品質(ビットレート)を設定します。

■ ID3情報:
録音するMP3ファイルへのID3情報の付与を、選択/非選択します。

■ メディア:
録音先メディアを表示します。(本製品ではUSBメモリのみです。)

次のページに続く

リモコン

使用するボタン

CD録音画面

CD録音

オプション		トラック	
速度	標準	✓ track01	04:24
録音品質	128Kbps	✓ track02	03:52
ID3情報	あり	track03	03:30
メディア	USB	track04	03:04
サマリー		track05	04:16
選択したトラック	2	track06	04:05
時間	08:16	track07	03:53
開始	戻る	すべて選択	すべて取消

音楽CDを聴く

音楽CDからUSBメモリに録音する

③ 次にリモコンの**「十字（◀/▶）ボタン」**を押して「トラック」の欄に移動します。

④ 録音するトラックを選択します。リモコンの**「十字（▲/▼）ボタン」**を押して「トラック」の欄に移動し、録音したいトラックをリモコンの**「決定ボタン」**を押して選択します。他にも録音したいトラックがある場合は、同じ操作を行います。

⑤ トラックをすべて録音する場合は、リモコンの**「十字（▲/▼/◀/▶）ボタン」**を押して「すべて選択」に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押して全てのトラックを選択します。
また、選択したトラックをすべてキャンセルしたい場合は、「すべて取消」に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

⑥ 設定が完了したら、「開始」に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押して、録音を開始します。
録音を途中で中止したい場合は、「キャンセル」に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押して、録音を中止します。

⑦ 録音が完了すると、再度CD録音のトップ画面に戻ります。
トップ画面で「戻る」に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押して、CD録音画面を終了します。

CD録音画面（録音中）

リモコン

使用するボタン

いろいろなファイルを再生する

○本製品では動画（MPEG-1、-2、-4）、音楽（WMA/MP3）、静止画（JPEG）ファイルを記録したCD-R/-RWを再生することができます。
※ディスク/記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態等によっては、操作･再生が行えない場合があります。
※動画ファイルの対応ファイル形式はAVIのみです。

メインモードにする

●本体の電源をオンにすると、自動的に**「メインモード」**になります。
●他のモードを選択している場合は、リモコンの**「機能切替ボタン」**を押して、**「メインモード」**に切り替えてください。
●リモコンの**「設定ボタン」**を2回押して再生したいメディアの切り替え画面を表示し、ご希望のメディアを選択してください。

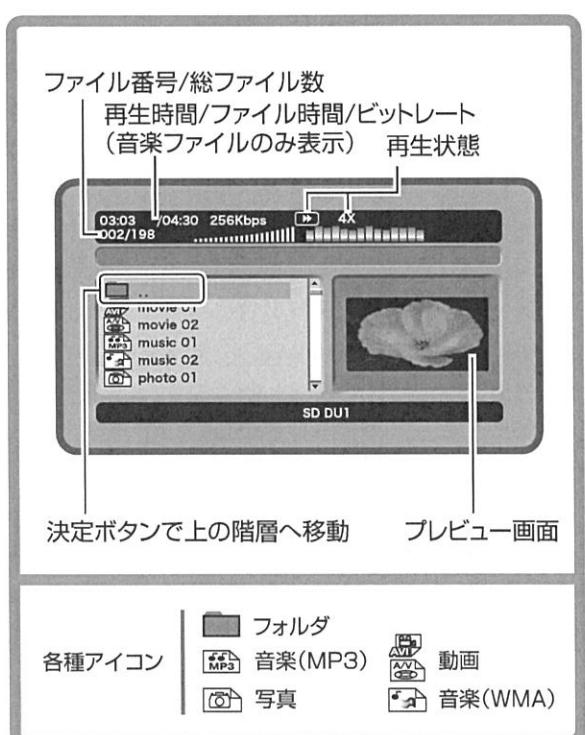
フォルダ/ファイル一覧画面

メディアをセットする

●P.26～P.27を参照し、再生したいメディアをセットします。

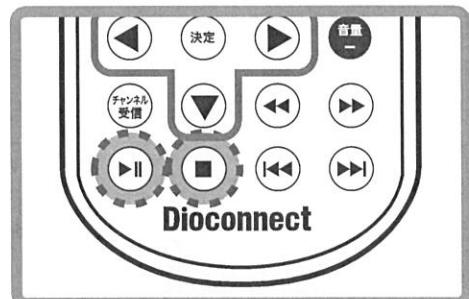
動画/音楽/静止画ファイル再生の操作と機能

再生

●本体もしくはリモコンの**「再生/一時停止（ ▶II ）ボタン」**を押して再生します。

一時停止

●ディスクの再生中に本体もしくはリモコンの**「再生/一時停止（ ▶II ）ボタン」**を押して一時停止します。

●一時停止を解除するには本体もしくはリモコンの**「再生/一時停止（ ▶II ）ボタン」**を押し、再生を再開します。

停止

●リモコンの**「停止（■）ボタン」**を押して再生を停止します。
その後再生／一時停止ボタンを押すと、停止した位置から再生を再開します。

リモコン

使用するボタン

いろいろなファイルを再生する

次のファイルへ頭出しする

●本体もしくはリモコンの「頭出し(▶▶|)**ボタン**」を押して次のファイルを頭出しします。

前のファイルへ頭出しする

●本体もしくはリモコンの「頭出し(|◀◀)**ボタン**」を押して前のファイルを頭出しします。

早送りする

●リモコンの「早送り(▶▶)**ボタン**」を押して再生を早送りします。ボタンを押すごとに「2×」→「4×」→「8×」→「16×」→「32×」→「通常再生」の順に切り替わります。

早戻しする

●リモコンの「早戻し(◀◀)**ボタン**」を押して再生を早戻しします。ボタンを押すごとに「2×」→「4×」→「8×」→「16×」→「32×」→「通常再生」の順に切り替わります。

リピートボタン

●ボタンを押すごとに、リピートモードが切り替わります。

シングル：1 ファイルをリピートします。 フォルダ：フォルダをリピートします。

※再生状況、ディスクの記録状態、ファイルやフォルダー構成によってはリピートしない場合があります。

A−Bリピートボタン

●区間を設定してリピート再生することができます。一度ボタンを押すとリピートの開始点(A)が設定され、終了点(B)にしたいところでもう一度ボタンを押すと、A−Bリピートが設定されます。

ランダムボタン

●メディアに記録されているファイルの順番を入れ替えてランダムに再生します。
リモコンの**「ランダムボタン」**を押してランダムモードに切り替えます。
●ランダム再生を停止する場合は、もう一度リモコンの**「ランダムボタン」**を押します。

リモコン

使用するボタン

いろいろなファイルを再生する

音声ボタン

●動画ファイルに記録されている音声を表示することができます。

ズームボタン

●映像/静止画の再生時、映像/静止画を拡大/縮小表示することができます。ボタンを押すごとに「2×→3×→4×→1/2→1/3→1/4」の順に切り替わります。
※ファイルの種類や記録状況によっては拡大/縮小表示できない場合があります。

ステレオ/モノラルボタン

●動画/音楽ファイルの音声をステレオかモノラルに切り替えます。
ボタンを押すごとに、「ステレオ」→「MONO(モノラル)左」→「MONO(モノラル)右」→「ミックスモノラル」の順に切り替わります。
※ミックスモノラルとは、ステレオ信号をモノラル信号にミックスし、左右のスピーカーから出力する方法です。例えば、右から音声、左から音楽が出力される音源などの場合に、左右からミックスした同じ音を出力することができます。

画面表示ボタン

●再生しているディスクの状態を表示します。動画ファイルの再生時は、ボタンを押すごとに「シングル再生時間」→「シングル残り時間」→「表示なし」の順に切り替わります。

コマ送りボタン

●動画ファイルの再生中にコマ送り再生できます。ボタンを1度押すと1コマ進みます。
「再生/一時停止(▶II)ボタン」を押すと通常再生に戻ります。

スローボタン

●再生中の動画をスロー再生します。ボタンを押すごとに、先送り「1/2」→「1/4」→「1/8」→「1/16」→巻き戻し「1/2」→「1/4」→「1/8」→「1/16」→「通常再生」の順に切り替わります。

リモコン

使用するボタン

いろいろなファイルを再生する

メニューボタン

●ファイル/フォルダ一覧画面に戻ります。

ジャンプボタン

●ファイル再生時にジャンプ画面を表示し、ファイル番号やファイル時間からジャンプすることができます。数字ボタンを押してジャンプしたいファイル番号や時間を入力します。

プログラムボタン

●静止画ファイル再生時に、スライドショーの効果を切り替えることができます。ボタンを押すごとにさまざまな効果に切り替わります。

十字(▲/▼/◀/▶)ボタン

●静止画(JPEG)ファイルの再生時(スライドショー)に**「十字(◀/▶/▲/▼)ボタン」**押すと、画像のアングルを変えることができます。

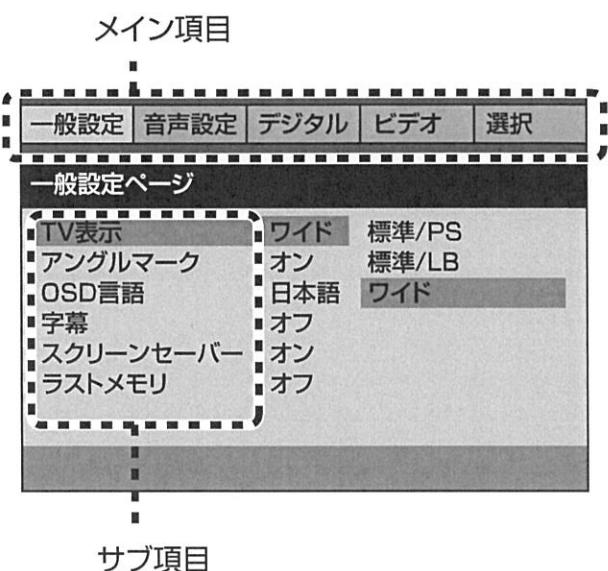
▲ボタン: 上下反転します。
▼ボタン: 左右反転します。
◀ボタン: 左に90°ずつ回転します。
▶ボタン: 右に90°ずつ回転します。

リモコン

使用するボタン

注意

※表示されないファイルは、本製品で再生できません。また表示されているファイルでも正しく再生できない場合があります。
※ファイル名に表示できないコードがあるときは、文字化けを起こす場合があります。
※どのファイル形式でも、バージョンやビットレート、設定やサイズなどによっては再生できない場合があります。

設定

○**「設定」**では本製品の各種設定を行うことができます。

設定の基本操作

●あらかじめ本体の電源をオンにします。(設定はリモコンで操作します。)
各ボタンについての詳細は、P.17～18を参照してください。

① メインモードで、**「設定ボタン」**を押すと、設定画面が表示されます。**「十字(◀/▶)ボタン」**を押してご希望のメイン項目を選択します。

② **「十字(▼)ボタン」**もしくは**「決定ボタン」**を押してメイン項目を確定します。

③ **「十字(▲/▼)ボタン」**を押してサブ項目を選択します。

④ **「十字(▶)ボタン」**もしくは**「決定ボタン」**を押してサブ項目を決定します。

⑤ **「十字(▲/▼)ボタン」**を押してご希望の設定を選択し、**「決定ボタン」**を押して設定を確定します。

⑥ **「十字(◀)ボタン」**を押すと、一段階前の項目に戻ります。
「設定ボタン」を押して設定を終了します。

設定画面

設定

一般設定

TV表示

○再生する映像や静止画の画面形状に合わせて、優先したい画面形状を設定することができます。

■ 標準/PS(4:3 パンスキャン)
左右を切り取って表示します。

■ 標準/LB(4:3 レターボックス)
上下に黒い帯を表示させせます。

■ ワイド(16:9)
16:9ワイド映像を本製品の画面にフル表示します。

設定画面

アングルマーク

○マルチアングルが収録されたDVDを再生する時、画面上にアングルマークを表示します。オン/オフで設定を切り替えます。
※ディスクの状態により本機能が働かない場合があります。

OSD言語

○画面表示の言語を「英語/日本語」から選択できます。
※ディスクの状態により本機能が働かない場合があります。

字幕

○字幕言語が記録されたDVDを再生する場合、字幕表示の設定をすることができます。

スクリーンセーバー

○再生画像の一時停止状態が続くと液晶画面の焼き付きが起る原因となります。本機能はこの現象を防ぐため、停止状態のまま約5分経過すると、スクリーンセーバー画面を表示します。オン/オフで設定を切り替えます。

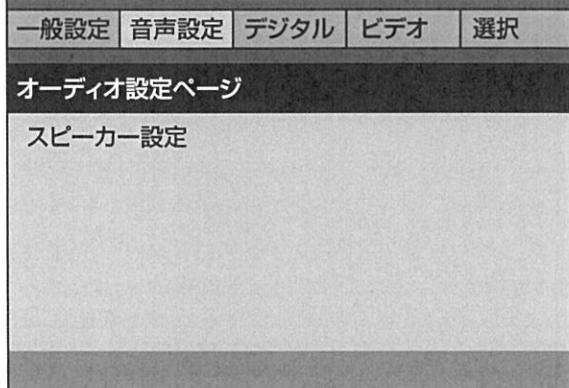
ラストメモリ

○本機能をオンにすると、DVD/音楽CDの最後に再生を停止した箇所を記録し、電源を入れ直した後も同じ箇所より再生を再開します(レジューム機能)。オン/オフで設定を切り替えます。
※ディスクの状態により本機能が働かない場合があります。

設定

音声設定

スピーカー設定

○ダウンミックス機能により、音声多重の出力方法を設定することができます。

■ LT/RT
左右に独立して音声が出力されます。
(例:右/英語・左/日本語音声)

■ ステレオ
通常のステレオ出力です。

設定画面

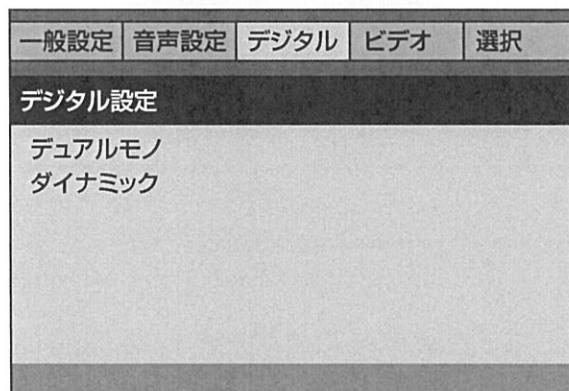
一般設定 | 音声設定 | デジタル | ビデオ | 選択
オーディオ設定ページ
スピーカー設定

デジタル

デュアルモノ

○DVDの音声出力をステレオ/モノラルに切り替えます。

■ ステレオ
通常のステレオ出力です。

■ モノラル左
左側のみの音声を左右両方から出力します。

■ モノラル右
右側のみの音声を左右両方から出力します。

■ ミックスモノラル
ステレオ信号をモノラル信号にミックスし、左右のスピーカーから出力する方法です。例えば、右から音声、左から音楽が出力される音源などの場合に、左右からミックスした同じ音を出力することができます。

設定画面

ダイナミック

○音の帯域を調整することができます。音が割れたりする時に使用して下さい。
「十字(▲/▼)ボタン」でスライダを調整し、**「決定ボタン」**を押して数値を確定してください。

設定

ビデオ

カラー設定

○画面のカラー設定を行うことができます。それぞれの項目で**「十字(◀/▶)ボタン」**を押して調整してください。

■ ブライトネス(明るさ)
明るさを「−16 〜 +16」の数値の間で調整します。

■ コントラスト
コントラストを「−16 〜 +16」の数値の間で調整します。

■ 色あい
色あいを「−9 〜 +9」の数値の間で調整します。

■ 彩度
彩度を「−9 〜 +9」の数値の間で調整します。

設定画面

選択

※本設定は、メディアの再生が完全に停止している状態で行ってください。

TVタイプ

○映像出力方式の設定をすることができます。

■ マルチ
『PAL』と『NTSC』の両方に対応します

■ NTSC
日本、米国、その他の国で使用。

※本製品の使用は日本国内に限られていますので、「NTSC」に設定してください。

設定画面

音声言語

○DVD再生時の音声言語を「英語/日本語」から選択できます。

次のページに続く

設定

選択

字幕言語

○DVD再生時の字幕言語を「英語/日本語」から選択できます。

ディスクメニュー

○DVDのメニュー表示の言語を「英語/日本語」から選択できます。

視聴制限

○視聴制限のある映像ソフトを再生する場合、制限レベルの変更時にパスワードの入力が必要となります。
①お好みの制限レベルを選択し、**「決定ボタン」**を押します。
②パスワード入力画面が表示され、**「数字ボタン」**で正しいパスワードを入力すると、「OK」の項目が選択できる様になります。**「決定ボタン」**を押します。
※パスワードに関しては、次項を参照してください。

パスワード

○視聴制限機能でパスワードを使用するか、使用しないか、また、パスワードの変更設定をおこないます。
○「パスワードモード」をオンにすると、視聴制限設定でパスワード入力が必要になり、オフにするとパスワード入力が必要なくなります。

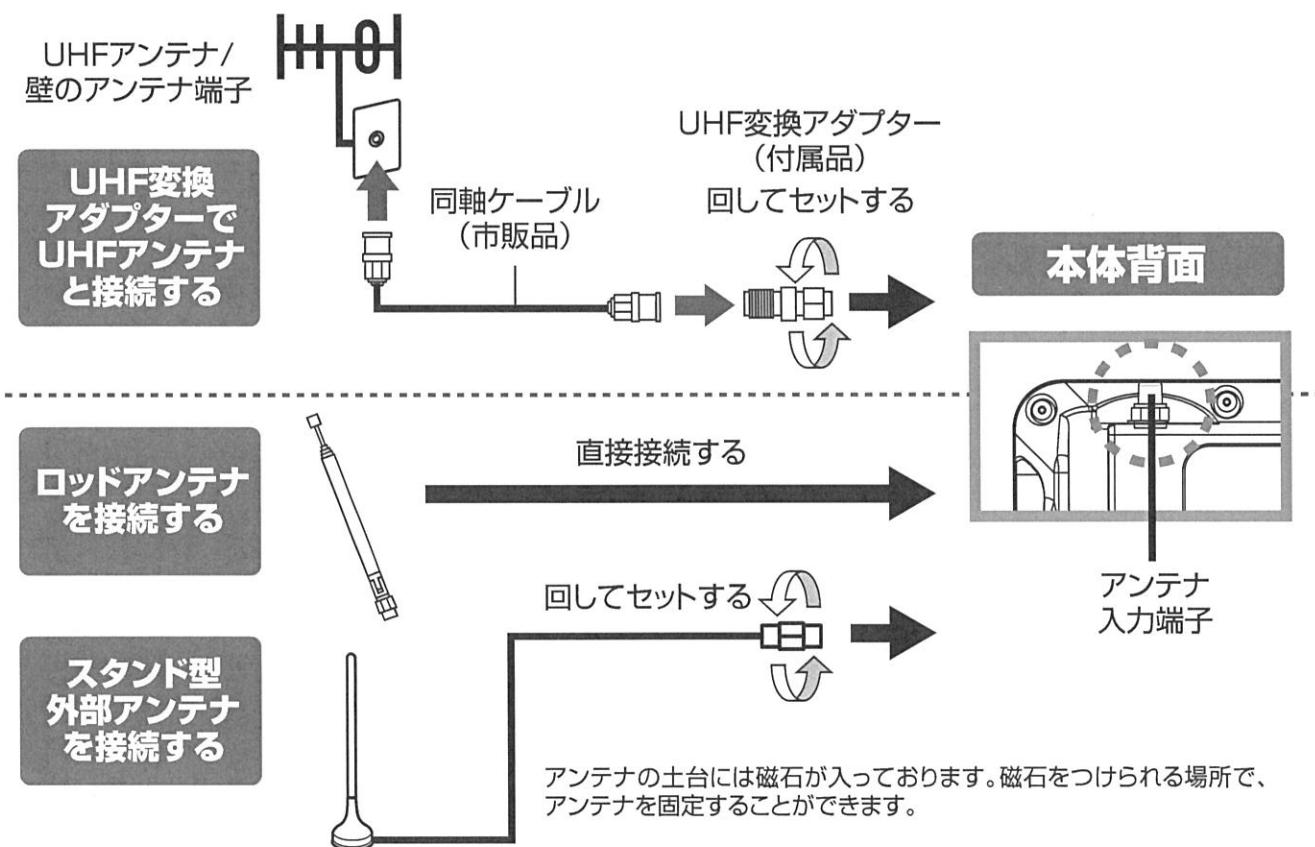
パスワード変更

①「旧パスワード」の項目に以前設定した、または初期設定されたパスワードを**「数字ボタン」**で入力します。
②「新パスワード」の項目に、新しく設定したいパスワードを入力します。
③「パスワード確認」の項目に、「新パスワード」をもう一度確認のために入力します。
④「OK」で**「決定ボタン」**を押して決定します。
※工場出荷時はパスワードは『0000』に設定されています。マスターのパスワードも『0000』です。もし設定したパスワードをお忘れになった場合は、マスターのパスワードを入力してください。

初期値

○設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

ワンセグを視聴する

アンテナを接続する

・雷が鳴っているときは、本体およびアンテナ端子への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電する恐れがあります。
・雷が鳴り出したら、アンテナケーブルや端子、AC電源アダプターの差し込みプラグには触れないでください。感電の原因となります。
・送電線から離れた場所に設置してください。

・電波状況や放送規格の異なる海外地域では本製品をご使用になれません。また、スタンド型外部アンテナやロッドアンテナをご使用の場合は、室内、建物の陰、地下や野外でも電波の弱い場所では映像が映らない場合がありますのでご注意ください。

○本製品にはスタンド型外部アンテナ、ロッドアンテナ、UHF変換アダプターが付属しています。
○ご家庭などのUHFアンテナがある環境では、付属のUHF変換アダプターと市販品の同軸ケーブルを使って、UHFアンテナと接続をすると、より安定した状態でワンセグ放送を視聴することができます。
○UHFアンテナのない場所でご使用の場合は、スタンド型外部アンテナ、ロッドアンテナを使用してください。
○接続の前に、本製品の電源をオフにしてください。

UHFアンテナ/
壁のアンテナ端子

UHF変換アダプターでUHFアンテナと接続する

同軸ケーブル
(市販品)

UHF変換アダプター
(付属品)
回してセットする

本体背面

ロッドアンテナを接続する

直接接続する

スタンド型外部アンテナを接続する

回してセットする

アンテナ
入力端子

アンテナの土台には磁石が入っております。磁石をつけられる場所で、アンテナを固定することができます。

注意

※ご家庭のアンテナがUHF受信に対応しているかご確認ください。VHF受信のみの場合、ワンセグ放送を受信できません。
※インターネットを経由してテレビを視聴されている場合、ワンセグ放送を受信できません。
※CATV(ケーブルテレビ)でテレビ放送をご覧の場合、各ケーブルテレビ会社によって伝送方式が異なります。詳しくはお住まいの地域のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。
※スタンド型外部アンテナの土台の磁石に、MOディスクやフロッピーディスクなどのデータディスクや磁気カードなどの磁気の記憶媒体を近づけたりくっつけたりしないでください。データが消えたり、破損する恐れがあります。
※室内での使用では放送電波が届きにくいため、映像が乱れたり、映りにくかったり、音声が聞き取りにくくなる場合があります。また、室外での使用でも、放送局が遠く離れていたりビルや山の陰、地下など電波の弱いところでは、映像が乱れたり、映りにくかったり、音声が聞き取りにくくなる場合があります。

ワンセグを視聴する

○ワンセグ放送を視聴する際は、**「TVモード」**に切り替えた後、必ず最初に**チャンネル受信**を行ってください。この設定を行わないとワンセグ放送は視聴できません。

TVモードにする

●本体の電源をオンにすると、自動的に**「メインモード」**になります。
●リモコンの**「機能切替ボタン」**を押して、**「TVモード」**に切り替えてください。

チャンネル受信をする

自動でチャンネル受信する 1

① リモコンの**「チャンネル受信ボタン」**を押すと、現在地で視聴可能な放送局を自動的にスキャンします。

自動でチャンネル受信する 2

① リモコンの**「設定ボタン」**を押し、設定画面を表示させます。

② リモコンの**「十字(▲/▼)ボタン」**を押して**「スキャン」**に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

③ **「自動検索」**を選択すると、現在地で視聴可能な放送局を自動的にスキャンします。

④ 上記の③で**「チャンネル選択」**を選択すると、手動で周波数からお好みのチャンネルを選択することができます。

⑤ 以上でワンセグの視聴が可能になります。**「設定」**から受信設定を行った場合は、リモコンの**「設定ボタン」**を押して設定画面を終了します。

リモコン

使用するボタン

ワンセグを視聴する

チャンネルを選局する

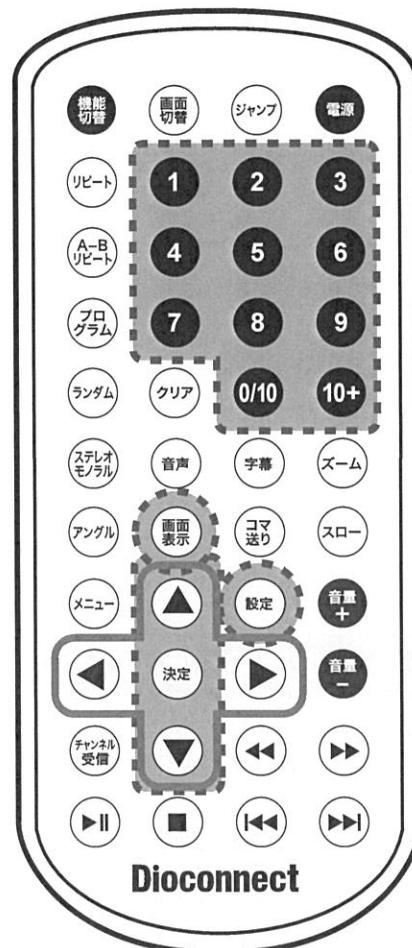
●チャンネルの選局を行うにはチャンネル順に選局する方法と、リモコンの**「数字ボタン」**で直接選局する方法と、チャンネルリストから選局する方法があります。

チャンネル順に選局する

●リモコンの**「十字（▲/▼）ボタン」**を押すと、現在受信可能なチャンネルを順に選局します。

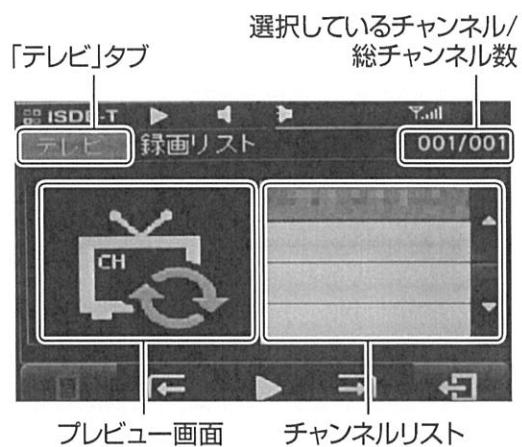
チャンネルを直接選局する

●リモコンの**「数字ボタン」**を押して、ご希望のチャンネルを直接選局します。
●選局したい番号（チャンネルリスト（右下図参照）内に表示される番号と同じ番号）をリモコンの**「数字ボタン」**で入力します。入力したチャンネルの数字が画面右上に表示されます。

チャンネルリストから選局する

●現在記憶されているチャンネルをチャンネルリストから確認し、選局することができます。

① リモコンの**「決定ボタン」**もしくは**「画面表示ボタン」**を押すと、**「チャンネルリスト」**が表示されます。（**「テレビ」**のタブが開かれた状態。）

② リモコンの**「十字（▲/▼）ボタン」**を押してご希望のチャンネルに移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押すと、プレビュー画面に選択したチャンネルの映像が表示されます。

③ リモコンの**「設定ボタン」**もしくは**「画面表示ボタン」**を押して戻ります。

リモコン

使用するボタン

注意

※記憶されたチャンネルでも電波状態の変化などにより、受信されない場合があります。

ワンセグを視聴する

ワンセグの操作と機能

●映像が表示されると、その上下にステータスを表すアイコンが表示されます。各アイコンの詳細とボタン操作および機能については以下の通りです。

音量

●リモコンの**「十字(◀/▶)ボタン」**を押すと、ワンセグ音量調節のウィンドウが表示され音量を調節することができます。本設定で音量を最大にしても音量が充分でない場合は、本体の音量を調節してください。(P.25参照)

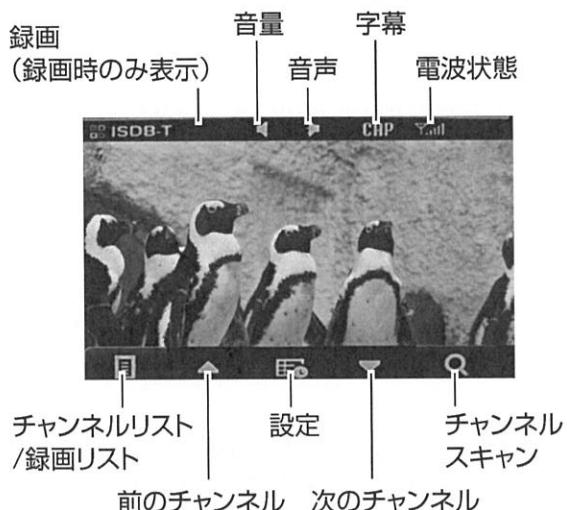
音声

●音声多重放送に対応している番組の場合、リモコンの**「音声ボタン」**もしくは**「ステレオ/モノラルボタン」**を押すと、主音声(左側のみ表示)/副音声(右側のみ表示)/主+副音声(両方表示)のいずれかに切り替わります。

字幕

●リモコンの**「字幕ボタン」**を押して字幕の表示/非表示を切り替えます。字幕表示がオンになっている場合は、「CAP」のアイコンが表示されます。

電波状況

●電波の強さを表します。「×」が表示されてしまう場合は、電波を受信しておりません。

チャンネルリスト/録画リスト

●リモコンの**「決定ボタン」**もしくは**「画面表示ボタン」**を押すとワンセグのチャンネルリスト/録画リストが表示されます。
●リモコンの**「設定ボタン」**もしくは**「画面表示ボタン」**を押して戻ります。

前のチャンネル/次のチャンネル

●リモコンの**「十字(▲)ボタン」**を押すと前のチャンネル、**「十字(▼)ボタン」**を押すと次のチャンネルを選局します。

ワンセグ画面

リモコン

使用するボタン

ワンセグを視聴する

番組表

●リモコンの「**アングルボタン**」を押すと、受信中のチャンネルの番組表を見ることができます。リモコンの「**十字(▲/▼)ボタン**」を押して番組を移動し、リモコンの「**決定ボタン**」を押すと、番組の詳細情報を見ることができます。
番組詳細の画面はリモコンの「**十字(◀/▶)ボタン**」を押してスクロールします。
戻る場合は、リモコンの「**アングルボタン**」を押します。

●また、番組表から予約録画を行うことができます。(P.52参照)

ワンセグを録画する

●本製品を使って、ワンセグの録画や、録画した映像を再生することができます。

※ワンセグの録画・再生には、**microSDメモリーカード(市販品)が必要です。SDメモリーカードでは録画することができません。**また、ワンセグの録画・再生は本製品の「**TVモード**」でのみ行ってください。

① microSDメモリーカードをmicroSDメモリーカードスロットにセットし、本製品の電源をオンにし、リモコンの「**機能切替ボタン**」を押して「**TVモード**」に切り替えます。

② P.48〜P.49を参照してチャンネルを選局し、ご希望の番組を選択します。

③ リモコンの「**リピートボタン**」を押して録画を開始します。
録画を終了する場合は、リモコンの「**停止(■)ボタン**」を押します。

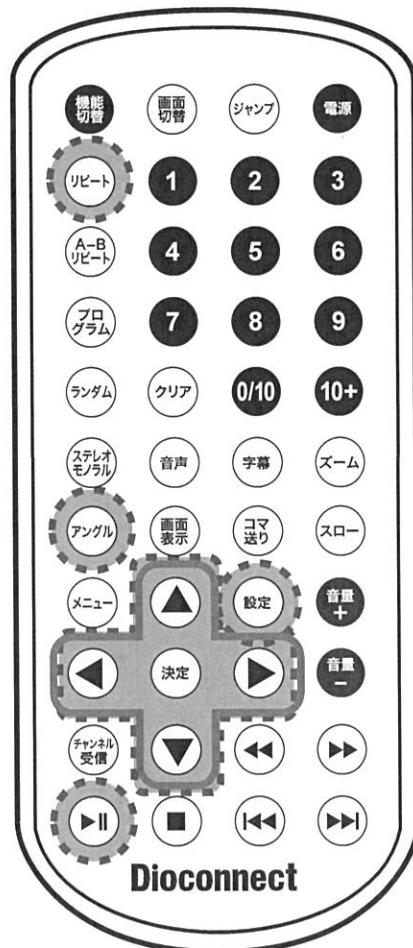
ワンセグ録画中の画面

リモコン

使用するボタン

ワンセグを予約録画する

●予約録画の設定を行うことで、指定した日時にワンセグの録画をすることができます。

**予約録画中は、
必ず本体の主電源をオンにしてください。**

手動で予約設定をする

① リモコンの**「設定ボタン」**を押し、設定画面を表示させます。

② リモコンの**「十字(▲/▼)ボタン」**を押して**「予約録画」**に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

③ 「予約録画」一覧が表示されます。リモコンの**「十字(▲/▼)ボタン」**を押して、ご希望の予約録画の枠に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

④ リモコンの**「十字(▲/▼)ボタン」**を押して、「年」、「月-日」、「開始 時」、「開始 分」、「終了 時」、「終了 分」、「LCN(チャンネル)」の各項目間を移動し、リモコンの**「十字(◀/▶)ボタン」**を押して内容を入力します。

⑤ 設定が終了したら、リモコンの**「決定ボタン」**を押して「予約録画」一覧に戻ります。
予約を取り消す場合は、該当の設定を選択して、リモコンの**「再生/一時停止(▶II)ボタン」**を押します。

番組表から予約設定をする

① リモコンの**「アングルボタン」**を押し、番組表を表示させます。

② リモコンの**「十字(▲/▼)ボタン」**を押してご希望の番組に移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押します。

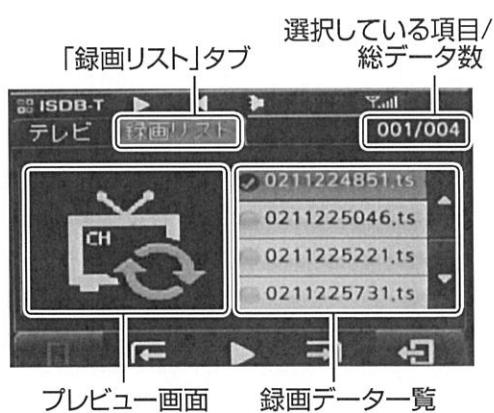
③ リモコンの**「リピートボタン」**を押して、番組の予約録画の設定をします。

④ 設定が終了したら、リモコンの**「アングルボタン」**を押して戻ります。
予約を取り消す場合は、該当の設定を選択して、リモコンの**「再生/一時停止(▶II)ボタン」**を押します。

リモコン

使用するボタン

予約録画の画面

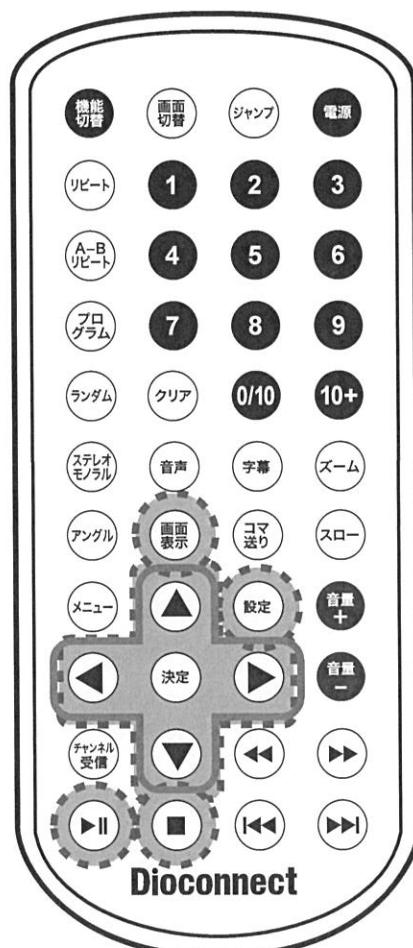
ワンセグを視聴する

録画した番組を再生する

① リモコンの**「決定ボタン」**もしくは**「画面表示ボタン」を**押し、チャンネルリスト/録画リストを表示させせます。

② リモコンの**「十字（▶）ボタン」**を押して**「録画リスト」**を表示させせます。

③ リモコンの**「十字（▲/▼）ボタン」**を押して、ご希望の録画データに移動し、リモコンの**「決定ボタン」**を押すと、プレビュー画面で映像を再生します。

④ リモコンの**「画面表示ボタン」**を押すと、全画面表示に切り替わります。

⑤ 再生を一時停止する場合は、リモコンの**「再生/一時停止（ ▶II ）ボタン」**を、終了する場合はリモコンの**「停止（■）ボタン」**を押します。

録画した番組を削除する

●録画したワンセグの録画データを削除する場合は、録画リストの削除したいデータを選択し、リモコンの**「再生/一時停止（ ▶II ）ボタン」**を押し、メッセージが表示されたらリモコンの**「決定ボタン」**を押します。
●キャンセルする場合はリモコンの**「設定ボタン」**を押して戻ります。

録画リストの画面

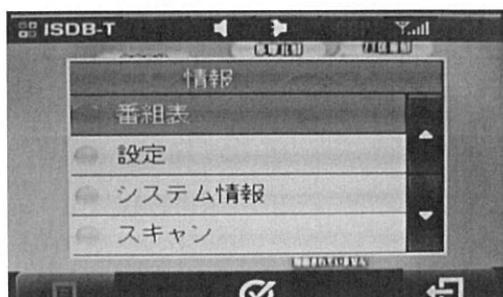
「録画リスト」タブ　選択している項目/総データ数

ISDB-T
テレビ　録画リスト　001/004
0211224851.ts
0211225046.ts
0211225221.ts
0211225731.ts

プレビュー画面　録画データ一覧

リモコン

使用するボタン

ワンセグを視聴する

設定ボタンの機能

●リモコンの**「設定ボタン」**を押すと、ワンセグ機能や設定などを表示します。

① リモコンの**「十字(▲/▼)ボタン」**を押してご希望のメイン項目を選択します。

② リモコンの**「決定ボタン」**を押して項目を確定します。

③ リモコンの**「設定ボタン」**を押して戻ります。

●「番組表」についてはP.51、「スキャン」についてはP.48、「予約録画」についてはP.52を参照してください。

設定画面

設定

●ワンセグでの様々な設定を行うことができます。
リモコンの**「十字(◀/▶)ボタン」**を押してメイン項目を移動し、リモコンの**「十字(▲/▼)ボタン」**を押してサブ項目を選択します。

言語

●設定画面の言語を日本語/英語に切り替えます。

モード

●映像出力方式の設定をすることができます。

■ PAL-M	■ NTSC
ヨーロッパの国などで使用。	日本、米国、その他の国で使用。

※本製品の使用は日本国内に限られていますので、「NTSC」に設定してください。

明るさ

●画面の明るさを設定します。

初期化

●リモコンの**「決定ボタン」**を押してワンセグの設定を初期化します。

システム情報

●ワンセグのシステムの情報を確認することができます。

車載用ケースの取り付け方

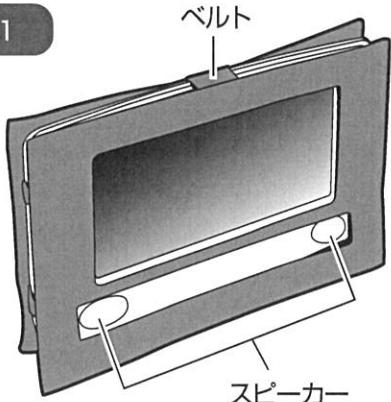
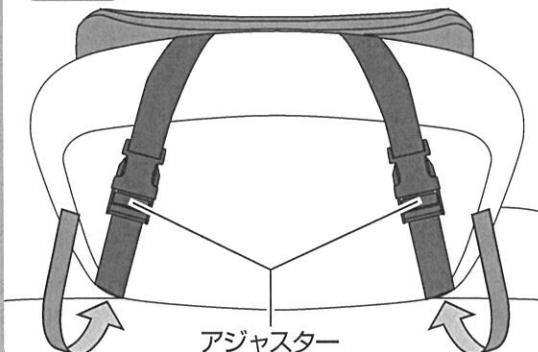
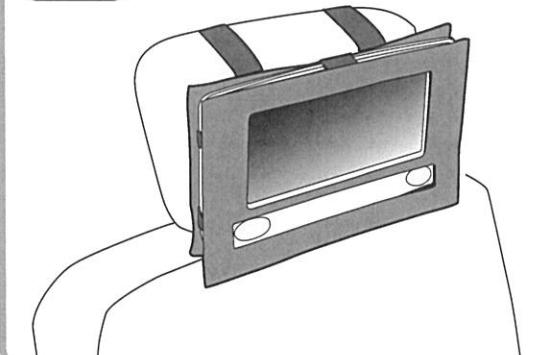
⚠注意

・本製品は運転中に鑑賞・操作をしないでください。事故の原因となることがあります。
・ケースを使う場合は、後部座席に乗車している方のみご鑑賞ください。
・エアバッグなどの安全上の妨げにならないように使用してください。

① 付属の車載用ケースに、本製品をセットします。ディスプレイとスピーカーが正しい位置になるように調整し、本体がしっかりと固定されるように、上部のベルトをしめてください。(図1参照)

② 前座席にあるヘッドレストに車載用ケースのベルトで固定します。(図2参照)
本体がしっかりと固定されるように、アジャスターでベルトの長さを調節してください。

③ 運転の振動で本製品が揺れない様にベルトで固定しながら、鑑賞しやすい位置に調整してください。(図3参照)

シガーソケット電源アダプターと接続しながら鑑賞したい場合は、P.21を参照してください。

注意

※本製品を車の空調吹き出し口などの温度、湿度が特に高い場所、直射日光があたる場所には放置しないでください。特に夏の車内は非常に高温になる場合がありますのでご注意ください。内蔵バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電、故障の原因となります。また本体の変形や故障の原因にもなります。
※長期間ご使用にならない場合は、車内に放置しないでください。
※車載用ケースをご利用の場合、リモコンで操作を行う場合は、受光部に近づけてご利用ください。

トラブルシューティング

●故障かなと思ったら、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	確認・対処
接続したテレビに画像が映らない、または乱れる	○電源プラグがコンセントから抜けていませんか?電源プラグの差し込みを確認してください。 ○テレビの入力切り換えは正しいですか?テレビの入力切り換えを、本製品からの画像が映るように切り換えてください。 ○AVケーブルはしっかりと接続されていますか?ケーブルをしっかりと差し込んでください。 ○テレビ信号方式の設定が間違っている可能性があります。設定を確認してください。 ○ワンセグ放送を外部出力していませんか。ワンセグ放送は外部出力することができません。
映像の跡が残る	○長時間同じ画面を表示していると、画面を変えた時に残像が発生する場合があります。表示する映像を変えたり、一度電源をオフにすると正常に戻ります。
電源が入らない(画像も音声も出ない)	○電源プラグが抜けていませんか?電源プラグの差し込みを確認してください。 ○主電源スイッチがオフになっていませんか?スイッチの位置を確認してください。 ○内蔵充電池の電池残量が無くなった可能性があります。充電してください。 ○リモコンの電池残量が無くなった可能性があります。新しい電池と交換してから再度電源ボタンを押してください。
音声が出ない	○音量が『0』または消音になっていませんか?「音量(+)ボタン」で音量を上げてください。
色がない	○「彩度」や「コントラスト」などの設定をかえてみてください。
画像や音声が乱れることがある	○ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいにしてください。
画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする	○ディスクのコピー防止機能が働いている可能性があります。ディスクの状態を確認してください。
再生が始まらない	○メディアが正しくセットされているか確認してください。 ○本製品では再生できない種類のメディア、ファイルの可能性があります。種類を確認してください。 ○ディスクを裏返しに入れていませんか?確認してください。 ○ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいにしてください。 ○視聴制限設定がされていませんか?設定を解除・変更してください。
ディスクが決められた通りの再生をしない	○リピート再生などをしていませんか?確認してください。
操作ボタンを押しても動作しない	○静電気やノイズなどの影響により本製品が動作しなくなっている可能性があります。主電源を入れ直すか、電源プラグを抜き、もう一度差し込んでみてください。
リモコンが働かない	○電池の極性〔(+)と(−)〕が表示通り正しく入っているか確認してください。 ○電池を新しいものと交換してみてください。 ○リモコンと本体の距離が開きすぎていませんか? ○リモコンと本体の間に障害物があると、リモコンの信号が本体に届かない場合があります。

トラブルシューティング

操作を受け付けない	○一旦主電源をオフにし、再度主電源をオンにして操作してみてください。
ワンセグ放送視聴時・映りが悪い	○アンテナケーブルが端子からはずれていませんか?または、アンテナ線が破損していませんか?アンテナのケーブルなどをお調べください。 ○チャンネル設定は正しく設定されていますか?ワンセグの設定を確認、再設定を行ってください。 ○自動車、オートバイ、高圧線、電車、電気掃除機、ドライヤーなどからの妨害が考えられます。これらからアンテナやアンテナ線、テレビ本体をできるだけ離してください。 ○他の機器から出る妨害電波の影響が考えられます。それらの電源を切ってみてください。また、無線局などからの電波が混在して起こることもあります。 ○電波が弱いか、あるいは障害物などがあると、映りが悪くなります。できるだけ電波が安定していて、障害物がないところで受信してみてください。
ワンセグ放送視聴時・色がない	○チャンネル設定は正しく設定されていますか?ワンセグの設定を確認、再設定を行ってください。
字幕などの文字が潰れてしまっている	○DVDメディアによっては出力解像度が高い場合があり、本製品の液晶に合わせた出力をした場合、文字が若干潰れて見える場合があります。予めご了承ください。

主な仕様

再生可能メディア	DVD-VIDEO・CD-DA・DVD-R/-RW（VRモード/CPRM記録ディスク含む）・ DVD+R/+RW・CD-R/-RW・USBメモリ（2.0まで）・ SD/SDHCカード・miniSD/miniSDHCカード・ microSD/microSDHCカード（SD対応容量：最大16GBまで） ※miniSD/miniSDHCカード、microSD/microSDHCカードでのファイル再生には、それぞれアダプターが必要です。	
CD録音可能メディア	USBメモリ	
音声記録形式	MP3	
CD録音ビットレート	96・112・128・192・256・320Kbps	
対応フォーマット	DVD-VIDEO・CD-DA・JPEG CD	
対応ファイル形式	MPEG-1・MPEG-2・MPEG-4（AVI形式）・MP3・WMA・JPEG	
ワンセグ部	ワンセグ録画・ 再生可能メディア	microSD/microSDHCカード （SD対応容量：最大16GBまで）
	録画可能時間	約4MB/分 ※録画可能時間は目安です。放送や録画状況などにより異なります。
	映像記録形式	MPEG2-TS
	受信チャンネル	UHF ch13 ～ 62
	映像符号化方式	H.264/AVC ベースライン
	ビットレート/フレームレート	384kbps/15fps
	音声符号化方式	MPEG2 AAC/AAC-SBR
	ビット長/サンプリングレート	16bit/24kHz（ハーフ） 48kHz
	テレビ信号方式	ISDB-T
	アンテナ	外部アンテナ
	表示言語	日本語/英語
	二重音声放送	主音声/副音声/主+副音声
	字幕	表示可能
	EPG	対応
液晶タイプ	9型（インチ）TFTカラー液晶モニタ	
画素数	横800 × 縦480 RGB	
アスペクト比	16：9（4：3選択可）	

主な仕様

映像方式	NTSC・マルチ・PAL
画面表示言語	日本語・英語
音声最大出力	スピーカー:1W ×2・ヘッドフォン:10mW × 1
スピーカーサイズ	(W)約30 × (H)約20 × (R)約5.5mm
入出力端子	映像/音声出力端子(RCAピンプラグ) ×1・映像/音声入力端子(RCAピンプラグ) ×1・ ヘッドフォン出力端子(3.5mmミニジャック) ×1・USB端子 ×1・ SDメモリーカードスロット ×1・microSDメモリーカードスロット ×1・アンテナ入力端子 ×1
電源	本体:DC入力端子 12V ACアダプター使用時　AC100-240V～　50/60Hz シガーソケット電源アダプター使用時　DC 9～12V 内蔵型リチウムイオン充電池(7.4V/1800mAh)
最大消費電力	約15W
内蔵型 リチウムイオン充電池 充電・使用可能時間	充電時間:約5時間(本製品使用時は約8時間) 使用可能時間:約1.5～2時間 ※使用状況や環境により変化する場合があります。
防水レベル	IP×6級耐水相当
使用環境	温度:10～35℃　湿度：45～75%
外形寸法	(W)約263 ×(D)約189 ×(H)約37.6 mm(突起部除く)
質量	約1200g(バッテリー含む)

■本製品の仕様は都合により記載内容を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
※ファイナライズ済みのDVD-R/-RW（ビデオフォーマット/VRモード）、DVD+R/+RWはDVDビデオとして再生できますが、使用するディスクの特性、汚れ、傷、または記録状態や記録機器、記録ソフト等の特性等により再生できない場合があります。
※CD-DAのフォーマットで記録された音楽用CD-R/-RWは再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。
※CD-DAのフォーマットで記録された音楽用CD-R/-RWはUSBメモリに録音できますが、MP3方式のCD-ROMは録音できません。
※CPRM方式で記録されたディスクは再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。
※ディスク/記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態等によっては、操作・再生など行えない場合があります。
※本機で録画・録音したワンセグの動画は、一般家庭での私的視聴に用途を限定しています。レンタル及び中古品売買取引等、その他の目的による利用は著作権者の許諾が必要になります。本機で録画・録音した映像及び音声をその一部でも、著作権者の許諾なしに、複製、改変、上映、上演を行うこと及び放送、有線放送等により公衆に送信することは法律により固く禁止されております。
※本機で録画・録音したワンセグの動画は、本機でのみの視聴に限定されます。
※メディアの種類によっては、動作しないものもあります。
※USBメモリの種類によっては、動作しないものもあります。
※SDカード他各種メディア、アダプター等は別売となります。
※本製品は日本国内でのみご使用頂けます。海外でのご使用については保証対象外となりますので予めご了承ください。

■防水について
※本体、リモコン以外の付属品は、防水に対応していません。水に濡れないようにご注意ください。
※左右側面のカバーを開けて各種端子、各種メディアの接続を行っている時は、本体の防水機能は使用できません。水まわりでご使用の際は、全ての接続を外し、左右側面のカバーは開閉せずにしっかりと閉めてください。また、同様にディスクトレイのカバーの開閉も行わないでください。

■液晶画面について
以下は液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。
○一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。
○明るさにむらが生じる場合があります。
○太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。

アフターサービスと保証書

保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
保証書をよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

■保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理
保証書の規定により、無料で修理致します。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
■保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)の修理
修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理致します。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。